

(様式第10)

鹿大病総第522号
令和元年10月3日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人鹿児島大学
佐野

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号
氏 名	国立大学法人鹿児島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

鹿児島大学病院

3 所在の場所

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号	電話 (099) 275-5111
-------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科
④腎臓内科	⑤神経内科	⑥血液内科
⑦内分泌内科	⑧代謝内科	⑨リウマチ科
⑩感染症内科	⑪アレルギー疾患内科またはアレルギー科	
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載す

ること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科 ②消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 7内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 7産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科 2リハビリテーション科 3病理診断科 4脳神経内科 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	1床	13床	0床	612床	666床



6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	225人	275人	427.5人	看 護 補 助 者	43人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	97人	49人	129.7人	理 学 療 法 士	21人	臨床検査技師	47人
薬 剤 師	53人	1人	53.1人	作 業 療 法 士	11人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	3人
助 産 師	21人	1人	21.7人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	657人	41人	688.3人	臨 床 工 学 士	21人	医療社会事業従事者	12人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	15人
歯 科 衛 生 士	14人	2人	16人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	168人
管 理 栄 養 士	7人	5人	12人	診 療 放 射 線 技 師	37人	そ の 他 の 職 員	77人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	43人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	38人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	8人
精 神 科 専 門 医	10人	放 射 線 科 専 門 医	14人
小 児 科 専 門 医	16人	脳 神 経 外 科 専 門 医	12人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整 形 外 科 専 門 医	13人
泌 尿 器 科 専 門 医	10人	麻 醉 科 専 門 医	16人
産 婦 人 科 専 門 医	14人	救 急 科 専 門 医	10人
		合 計	222人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (夏越 祥次) 任命年月日 平成 29 年 4 月 1 日

- ・ 病院長補佐 (安全管理担当) (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ 医療環境安全部 部長 (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ 医療安全管理委員会 委員長 (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ リスクマネージャー連絡会議 議長 (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ 医療環境安全部スタッフ会議 議長 (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ 医療機器安全管理責任者 (H27. 4. 1-H29. 3. 31)



9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	532.6人	25.9人	558.5人
1日当たり平均外来患者数	1,053.1人	420.3人	1,473.4人
1日当たり平均調剤数			1,250剤
必要医師数			119.23人
必要歯科医師数			8人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			330人

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	320m ²	鉄筋コンクリート	病床数	14床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 379m ² [移動式の場合] 台数 1台		病床数	26床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 90m ² [共用室の場合] 共用する室名		病棟薬剤業務管理室			
化学検査室	304m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) デリタリット方式臨床化学自動分析装置、免疫比濁分析装置、免疫蛍光分析装置、免疫発光測定装置、蛋白分画電気泳動分析装置、グルコース分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液計数装置、血液塗抹標本作製装置、フローサイトメータ			
細菌検査室	45m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養自動分析装置、遺伝子解析装置、嫌気培養装置、炭酸ガス培養装置、抗酸菌培養検査装置、免疫蛍光測定装置、微生物分類同定分析装置、微生物由来成分分析装置、微生物感受性分析装置			
病理検査室	118m ²	軽量鉄骨造	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、滑走式ミカトーム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色・ISH装置、凍結切片作製装置、集細胞遠心装置、顕微鏡、病理・細胞診検査業務支援システム			
病理解剖室	55m ²	軽量鉄骨造	(主な設備) ハイハザード対応排気システム、排水蒸気滅菌処理システム			
研究室	8,026m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ガスシールド、電子顕微鏡			
講義室	655m ²	鉄筋コンクリート	室数	3室	収容定員	499人
図書室	1,980m ²	鉄筋コンクリート	室数	8室	蔵書数	177,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	78.6%	逆紹介率	63.2%
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,995 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,017 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,199 人
	D: 初診の患者の数		20,581 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
後 信	九州大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポート かごしま		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	①有・無
委員の選定理由の公表の有無	①有・無
公表の方法	
鹿児島大学ホームページにおいて公表	



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	0人
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	4人
糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法 ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA-A24が陽性であるものに係るものに限る。)	1人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	1人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	2人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中樞神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	0人
術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん(洗浄細胞診により、がん細胞の存在が認められないものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
mFOLFOX6及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 胃がん(腺がん及び腹膜播種であると確認されたものであって、抗悪性腫瘍剤の経口投与では治療が困難なものに限る。)	0人
水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	3人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん	2人
S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
2	球脊髄性筋萎縮症	56	ベーチェット病	88
7	筋萎縮性側索硬化症	57	特発性拡張型心筋症	29
11	脊髄性筋萎縮症	58	肥大型心筋症	5
0	原発性側索硬化症	59	拘束型心筋症	0
3	進行性核上性麻痺	60	再生不良性貧血	20
75	パーキンソン病	61	自己免疫性溶血性貧血	3
2	大脳皮質基底核変性症	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
1	ハンチントン病	63	特発性血小板減少性紫斑病	38
2	神経有棘赤血球症	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
2	シャルコー・マリール・トウース病	65	原発性免疫不全症候群	8
89	重症筋無力症	66	IgA腎症	20
0	先天性筋無力症候群	67	多発性嚢胞腎	23
61	多発性硬化症/視神経脊髄炎	68	黄色靱帯骨化症	13
9	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	69	後縦靱帯骨化症	67
2	封入体筋炎	70	広範脊柱管狭窄症	2
8	クロー・深瀬症候群	71	特発性大腿骨頭壊死症	42
8	多系統萎縮症	72	下垂体性ADH分泌異常症	18
41	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	73	下垂体性TSH分泌亢進症	6
8	ライソゾーム病	74	下垂体性PRL分泌亢進症	25
3	副腎白質ジストロフィー	75	クッシング病	5
20	ミトコンドリア病	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
45	もやもや病	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	33
3	プリオン病	78	下垂体前葉機能低下症	154
0	亜急性硬化性全脳炎	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
0	進行性多巣性白質脳症	80	甲状腺ホルモン不応症	0
14	HTLV-1関連脊髄症	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
0	特発性基底核石灰化症	82	先天性副腎低形成症	0
6	全身性アミロイドーシス	83	アジソン病	1
0	ウルリッヒ病	84	サルコイドーシス	64
0	遠位型ミオパチー	85	特発性間質性肺炎	39
0	ベスレムミオパチー	86	肺動脈性肺高血圧症	38
0	自己食空胞性ミオパチー	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	2
0	シュワルツ・ヤンベル症候群	88	慢性血栓性肺高血圧症	36
46	神経線維腫症	89	リンパ脈管筋腫症	2
14	天疱瘡	90	網膜色素変性症	53
0	表皮水疱症	91	バッド・キアリ症候群	1
15	膿疱性乾癬(汎発型)	92	特発性門脈圧亢進症	0
0	スティーヴンス・ジョンソン症候群	93	原発性胆汁性肝硬変	17
0	中毒性表皮壊死症	94	原発性硬化性胆管炎	1
18	高安動脈炎	95	自己免疫性肝炎	18
0	巨細胞性動脈炎	96	クローン病	60
6	結節性多発動脈炎	97	潰瘍性大腸炎	88
23	顕微鏡的多発血管炎	98	好酸球性消化管疾患	5
9	多発血管炎性肉芽腫症	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
11	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
7	悪性関節リウマチ	101	腸管神経節細胞減少症	0
11	パージャール病	102	ルピンシユタイン・テイビ症候群	0
0	原発性抗リン脂質抗体症候群	103	GFC症候群	0
317	全身性エリテマトーデス	104	コステロ症候群	0
103	皮膚筋炎/多発性筋炎	105	チャージ症候群	0
114	全身性強皮症	106	クリオピリン関連周期熱症候群	2
43	混合性結合組織病	107	全身型若年性特発性関節炎	5
33	シェーグレン症候群	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
9	成人スチル病	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
3	再発性多発軟骨炎	110	ブラウ症候群	1

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	14
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	8
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	4	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	1
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	3
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	1
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	2
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	2	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	3

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数	
211	左心低形成症候群	2	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	システロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	4	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	2	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	9	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	5
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	4	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	3
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	1
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性降炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	16
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算
・特定機能病院入院基本料	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・救命救急入院料1
・医師事務作業補助体制加算1	・特定集中治療室管理料1
・急性期看護補助体制加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・看護職員夜間配置加算	・小児入院医療管理料2
・看護補助加算	・回復期リハビリテーション病棟入院料3
・療養環境加算	・短期滞在手術等基本料2
・重症者等療養環境特別加算	・入院時食事療養/生活療養(I)
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・総合評価加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査
糖尿病合併症管理料	精密触覚機能検査
がん性疼痛緩和指導管理料	骨髄微小残存病変量測定
がん患者指導管理料イ	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
がん患者指導管理料ロ	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
がん患者指導管理料ハ	検体検査管理加算(Ⅰ)
外来緩和ケア管理料	検体検査管理加算(Ⅳ)
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	国際標準検査管理加算
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	遺伝カウンセリング加算
糖尿病透析予防指導管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
乳腺炎重症化予防・ケア指導料	胎児心エコー法
外来放射線照射診療料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
ニコチン依存症管理料	ヘッドアップティルト試験
がん治療連携計画策定料	人工臓臓検査、人工臓臓療法
肝炎インターフェロン治療計画料	長期継続頭蓋内脳波検査
ハイリスク妊産婦連携指導料2	神経学的検査
薬剤管理指導料	補聴器適合検査
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	ロービジョン検査判断料
医療機器安全管理料1	コンタクトレンズ検査料1
医療機器安全管理料2	内服・点滴誘発試験
医療機器安全管理料(歯科)	画像診断管理加算3
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	歯科画像診断管理加算1
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	歯科画像診断管理加算2
遺伝学的検査	ポジトロン断層撮影
有床義歯咀嚼機能検査1のイ	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	CT撮影及びMRI撮影
有床義歯咀嚼機能検査2のイ	冠動脈CT撮影加算

外傷全身CT加算	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
心臓MRI撮影加算	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
乳房MRI撮影加算	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
小児鎮静下MRI撮影加算	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
頭部MRI撮影加算	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
外来化学療法加算1	網膜再建術
無菌製剤処理料	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
がん患者リハビリテーション料	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
集団コミュニケーション療法料	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
歯科口腔リハビリテーション料2	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
救急患者精神科継続支援料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
認知療法・認知行動療法1	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
医療保護入院等診療料	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
口腔粘膜処置	経カテーテル大動脈弁置換術
レーザー機器加算	経皮的の中隔心筋焼灼術
エタノールの局所注入(甲状腺)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
エタノールの局所注入(副甲状腺)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
導入期加算1	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
手術用顕微鏡加算	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
う蝕歯無痛の窩洞形成加算	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
CAD/CAM冠	補助人工心臓
手術時歯根面レーザー応用加算	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
センチネルリンパ節加算	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)

腹腔鏡下肝切除術	高エネルギー放射線治療
生体部分肝移植術	1回線量増加加算
腹腔鏡下腭腫瘍摘出術	強度変調放射線治療(IMRT)
腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術	画像誘導放射線治療(IGRT)
腹腔鏡下腭頭十二指腸切除術	体外照射呼吸性移動対策加算
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	定位放射線治療
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	画像誘導密封小線源治療加算
同種死体腎移植術	保険医療機関間の連携による病理診断
生体腎移植術	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
膀胱水圧拡張術	病理診断管理加算2
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	デジタル病理画像による病理診断
人工尿道括約筋植込・置換術	悪性腫瘍病理組織標本加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	口腔病理診断管理加算2
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	クラウン・ブリッジ維持管理料
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	歯科矯正診断料
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	
輸血管管理料Ⅱ	
自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
歯周組織再生誘導手術	
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
歯根端切除手術の注3	
麻酔管理料(Ⅰ)	
麻酔管理料(Ⅱ)	
放射線治療専任加算	
外来放射線治療加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	150
剖 検 の 状 況	剖検症例数 26 例 / 剖検率 15.8 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
上部消化器癌の微量癌細胞解析を用いた治療選択への応用	夏越 祥次	病院長	4,600,000	補○委 日本学術振興会
癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	夏越 祥次	病院長	2,000,000	補委○ 国民健康保険 高原病院
膵臓癌の癌遺伝子に対して抑制的に働くmicro RNAの検索	夏越 祥次	病院長	2,000,000	補委○ えびの市
癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	夏越 祥次	病院長	1,200,000	補委○ 垂水中央病院
大規模検診から高浸透率家系を抽出する新しい高血圧遺伝子同定法の確立	大石 充	心臓血管内科	1,900,000	補○委 日本学術振興会
フレイル高齢者のレジストリ研究及び地域高齢者におけるフレイル予防プログラムの開発・検証	大石 充	心臓血管内科	1,000,000	補委○ 国立研究開発法人 国立長寿医療 研究センター
高齢者の認知機能低下に配慮した至適血圧域の解明:老年期にある健常者と軽度認知機能低下患者を対象とした、認知機能保持ないしその改善を最終目的とした、適切な血圧管理法に関する研究	大石 充	心臓血管内科	1,000,000	補委○ 国立研究開発法人 国立長寿医療 研究センター
レジストリデータに基づいた経口抗凝固薬を適切に選択するための研究(略称:Strawberry研究)	大石 充	心臓血管内科	162,000	補委○ 国立研究開発法人 国立長寿医療 研究センター
垂水市在住高齢一般住民における前向きコホート研究	大石 充	心臓血管内科	583,200	補委○ 垂水市
地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血圧管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,160,000	補委○ 枕崎市立病院事業
肺高血圧における肺血管内皮機能の評価	大石 充	心臓血管内科	500,000	補委○ 肝属郡医師会立 病院
肺高血圧における肺血管内皮機能の評価	大石 充	心臓血管内科	2,000,000	補委○ えびの市
肺高血圧における肺血管内皮機能の評価	大石 充	心臓血管内科	1,700,000	補委○ 垂水中央病院
フレイルと心不全の相互関連因子探索と心臓リハビリテーションの有効性に関する研究	窪田 琢郎	心臓血管内科	1,100,000	補○委 日本学術振興会
血管老化・動脈硬化に対するオルタナティブオートファジーを軸とした治療法の開発	池田 義之	心臓血管内科	1,200,000	補○委 日本学術振興会
次世代シーケンサーによる家族性肺高血圧症の遺伝子解析:特発性肺高血圧症の機序解明	田中 佳代子	心臓血管内科	1,700,000	補○委 日本学術振興会
ミトコンドリアダイナミクスとオートファジーを標的としたサルコペニアの新規治療法	赤崎 雄一	心臓血管内科	1,200,000	補○委 日本学術振興会
Fabry病の新規αガラクトシダーゼ遺伝子変異による酵素の生体内動態に関する研究	樋口 公嗣	心臓血管内科	1,200,000	補○委 日本学術振興会
高齢者における心房細動の早期発見と心原性脳塞栓症予防に関する研究	入来 泰久	心臓血管内科	1,000,000	補○委 日本学術振興会
血小板内在性VEGF-Aを分子標的とする新規大腸癌治療の臨床及び分子生物学的研究	井本 浩	心臓血管外科	1,100,000	補○委 日本学術振興会

小計20件

大動脈弁狭窄症における炎症、石灰化、凝固能に関するマイクロRNA、エクソソームの解析	井本 浩	心臓血管外科	1,000,000	補 委○	肝属郡医師会立 病院
大動脈弁狭窄症におけるエクソソームが石灰化、病態に与える影響の解析	上田 英昭	心臓血管外科	2,600,000	補 委○	日本学術振興会
傷害肝の修復におけるマクロファージの代謝スイッチと線維形成・吸収の制御機構の解明	井戸 章雄	消化器内科	1,700,000	補 委○	日本学術振興会
生物学的製剤抵抗性クローン病を対象とした多施設共同二重盲検アドレノメデュリンphase II 医師主導治験	井戸 章雄	消化器内科	2,065,000	補 委○	国立大学法人宮 崎大学
生活習慣病が消化器疾患や腎疾患の病態進展に及ぼす影響に関する研究	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	補 委○	国民健康保険 高原病院
健診受診者におけるアルデヒド呼気試験の有用性の検討	井戸 章雄	消化器内科	6,500,000	補 委○	出水市病院事業
高フルクトース食による腸内細菌叢構成異常が肝炎症や発癌、癌進展に及ぼす影響の解析	田ノ上 史郎	消化器内科	900,000	補 委○	日本学術振興会
C型肝炎ウイルス直接作用薬治療不成功に関連する新たな薬剤耐性変異の機能解析	馬渡 誠一	消化器内科	1,600,000	補 委○	日本学術振興会
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術における根治性・安全性の向上に関する研究	中条 哲浩	消化器外科	1,200,000	補 委○	日本学術振興会
手術中における消化器外科医のストレス評価及び医療安全を目指した基礎的データの構築	迫田 雅彦	消化器外科	600,000	補 委○	日本学術振興会
膵臓癌の転移能および治療抵抗性獲得のメカニズム解析と新規治療法の開発	蔵原 弘	消化器外科	800,000	補 委○	日本学術振興会
膵臓癌・機能性RNA発現解析に基づく、局所浸潤・遠隔転移に関わる分子経路の探索	伊地知 徹也	消化器外科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
膵臓癌細胞由来オルガノイドモデルを用いた放射線化学療法耐性の機序解明	川崎 洋太	消化器外科	700,000	補 委○	日本学術振興会
膵臓における免疫チェックポイント阻害療法効果予測因子の検索	田上 聖徳	消化器外科	1,500,000	補 委○	日本学術振興会
Charcot-Marie-Tooth病の分子遺伝学的アプローチによる病態解明	高嶋 博	脳神経内科	4,800,000	補 委○	日本学術振興会
神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	500,000	補 委○	国立研究開発法 人 国立精神・神 経医療研究セン ター
原因不明脳炎を対象とした次世代シーケンサーによる新しい診断法の確立	高嶋 博	脳神経内科	1,000,000	補 委○	肝属郡医師会立 病院
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
自己免疫性脳症の病態、原因、治療法に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	400,000	補 委○	垂水中央病院
膠芽腫におけるHDAC7発現の機能的意義の解明と標的療法の確立	吉本 幸司	脳神経外科	1,600,000	補 委○	日本学術振興会

小計20件

てんかん原性病変におけるメチオニン集積亢進機序の解明	花谷 亮典	脳神経外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症における脊柱管内炎症ネットワークの解明	山畑 仁志	脳神経外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
疼痛・情動行動における脳脊髄FFAR1システムの重要性を検証する	大吉 達樹	脳神経外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
glioblastomaにおけるFMNL1を中心とした新規浸潤・遊走機構の解明	比嘉 那優大	脳神経外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
新規脂質代謝酵素に注目した気管支喘息の病態解析	井上 博雅	呼吸器内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
新規の肺癌診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
重症喘息およびCOPD患者の地域特性に関連したコホート研究	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
新規の肺癌マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	300,000	補 委○	垂水中央病院
平成30年度感覚障害を評価するための神経学的診察法に関する研究事業	松浦 英治	呼吸器内科	1,000,000	補 委○	熊本県
機能性RNAネットワーク解析に基づく治療抵抗性小細胞肺癌の革新的治療法開発	隈元 朋洋	呼吸器内科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
抗原非特異的な喘息増悪の病態におけるTRPチャネルの役割に関する研究	町田 健太郎	呼吸器内科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
呼吸器疾患難治化におけるホスホリパーゼA2/リソリン脂質ネットワークの役割の解析	渡辺 正樹	呼吸器内科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	町田 健太郎	呼吸器内科	0	補 委○	独立行政法人国立病院機構東京病院
特発性肺線維症・肺癌に共通する機能性RNA分子ネットワークの探索	上川路 和人	呼吸器内科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
肺癌抗体治療のターゲット分子におけるスプライス異常と効果の分子生物学的相関研究	佐藤 雅美	呼吸器外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
微小病変手術に対するハイブリッド手術室の有用性	佐藤 雅美	呼吸器外科	300,000	補 委○	垂水中央病院
新たな骨髄-脳相関・骨髄由来細胞を標的とした癌性悪液質・サルコペニアの治療法開発	浅川 明弘	心身医療科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
p53を制御する新たなストレス応答を活用したがん治療薬の探索	浅川 明弘	心身医療科	26,568,300	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
治療抵抗性腎癌における機能性RNA分子ネットワークの探索と革新的治療法の開発	中川 昌之	泌尿器科	1,900,000	補○ 委	日本学術振興会
マイクロRNAによる新規泌尿器癌治療の開発のためのin vivo実験(継続)	中川 昌之	泌尿器科	2,000,000	補 委○	肝属郡医師会立病院

3

小計20件

転移性腎細胞癌に対するドラッグリポジショニングによる新規治療戦略	中川 昌之	泌尿器科	300,000	補 委○	垂水中央病院
ゲノム編集技術による癌促進型マイクロRNAの機能解析と革新的膀胱癌治療法の開発	榎田 英樹	泌尿器科	3,900,000	補○ 委	日本学術振興会
高分子ナノミセルに搭載した癌抑制マイクロRNAによる膀胱癌の新規核酸医薬の開発	山田 保俊	泌尿器科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
革新的腎癌治療法の開発を目指したゲノム編集による癌促進型マイクロRNAの機能解析	井手迫 俊彦	泌尿器科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
尿路上皮癌・増殖シグナルを遮断するマイクロRNAの探索に基づく革新的治療法の開発	吉野 裕史	泌尿器科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
高分子ナノミセルに搭載した転移抑制マイクロRNAを用いた核酸医薬への挑戦	鎌野 秀一	泌尿器科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
ユビキチンプロテアソーム系を標的とした進行性腎細胞癌に対する新規治療戦略の構築	吉野 裕史	泌尿器科	1,000,000	補 委○	公益財団法人がん研究振興財団
ゲノム編集技術を用いた腎癌における分子標的治療薬への耐性化機構の解明	米森 雅也	泌尿器科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
成人T細胞白血病・リンパ腫に対する抗アポトーシス蛋白を標的とする新規治療開発	石塚 賢治	血液・膠原病内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
鹿児島県における骨髄増殖性腫瘍の遺伝子解析及び実態調査	石塚 賢治	血液・膠原病内科	300,000	補 委○	垂水中央病院
ATLにおける慢性活性化T細胞受容体経路を標的とした創薬基盤の構築	吉満 誠	血液・膠原病内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
SGLT-2阻害薬による心周脂肪厚(BTA)などに対する影響の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	250,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
電子カルテ情報活用型多施設データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	補 委○	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
枕崎地区における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,080,000	補 委○	枕崎市立病院事業
SGLT-2阻害薬による心周脂肪厚(EAT)などに対する影響の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
インスリン注入用注射針と筋力低下の関連	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	補 委○	垂水中央病院
乳癌治療時の遊離真皮脂肪片(FDFG)移植に関する基礎的・臨床的研究	喜島 祐子	乳腺・甲状腺外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
消化器癌個別化治療にむけた3D培養と共培養を用いた癌組織不均一性の基礎研究	喜多 芳昭	乳腺・甲状腺外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
有棘赤血球舞踏病とマイトファジー 分子レベルの病態機序解明と神経変性予防法の開発	佐野 輝	神経科精神科	4,800,000	補○ 委	日本学術振興会
神経有棘赤血球症の共通分子病態の解析	中村 雅之	神経科精神科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

Choreinの細胞死調整機構への関わりに関する研究	佐々木 なつき	神経科精神科	2,300,000	補○ 委	日本学術振興会
22q11.2欠失症候群患者における薬剤性パーキンソニズムの発症機序解明	林 岳宏	神経科精神科	2,200,000	補○ 委	日本学術振興会
薬物動態解析と代謝酵素活性分析による安全かつ効果的な小児造血細胞移植術の確立	河野 嘉文	小児科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
枕崎地区における小児予防接種率向上と小児医療体制充実に関する研究	河野 嘉文	小児科	1,080,000	補 委○	枕崎市立病院事業
出水地区における小児疾患の予防策と治療成績の向上に関する研究	河野 嘉文	小児科	2,600,000	補 委○	出水市病院事業
DCKプロモーターの脱メチル化によるネララビン耐性機構の解明と耐性予防法の確立	岡本 康裕	小児科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
アジア国際共同臨床試験を通じたDS-ALLにおける標準治療の開発	岡本 康裕	小児科	16,649,601	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
アルデヒド代謝からみたシクロフォスファミド心筋障害予防法の探索	西川 拓朗	小児科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
microRNA-223 derived from platelets aggravate podocyte damage in nephrotic syndrome.	宮園 明典	小児科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
p53を制御する新たな機構を利用した小児白血病の新規治療戦略	中川 俊輔	小児科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
p53を制御する新たな機構を利用した小児白血病の新規治療戦略	中川 俊輔	小児科	500,000	補 委○	公益財団法人森永奉仕会
p53を制御する新たな機構を利用した小児白血病の新規治療戦略	中川 俊輔	小児科	1,000,000	補 委○	公益信託日本白血病研究基金
海外研究医受け入れ助成	家入 里志	小児外科	400,000	補 委○	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
壊死性腸炎に対するグルカゴンライクペプチド-2を用いた革新的新規治療法の開発	中目 和彦	小児外科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
壊死性腸炎に対するグレリンを用いた発症メカニズム解明と革新的新規予防治療法の開発	町頭 成郎	小児外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
救命困難な超重症NECに対する大建中湯を用いた実験的予防法開発	榊屋 隆太	小児外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
海外短期留学助成	榊屋 隆太	小児外科	500,000	補 委○	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
重症心身障害児に対する3Dスキャナーを用いた腹腔鏡ポータレアウトシステムの開発	山田 耕嗣	小児外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
ハイドロゲン・ナノバブルを用いた壊死性腸炎に対する画期的治療法の開発	川野 孝文	小児外科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
高度腫瘍移行性と低毒性を可能としたナノメディシン抗がん剤の婦人科腫瘍における検討	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会

5

小計20件

平成30年度特定診療科医師派遣事業業務委託	小林 裕明	産科、婦人科	4,424,386	補 委○	鹿児島県
子宮体癌におけるセンチネル生検の有用性の検討	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
早期子宮頸癌、体癌での鏡視下(腹腔鏡・ロボット支援)骨盤リンパ節センチネルリンパ節生検の安全性と臨床応用	戸上 真一	産科、婦人科	500,000	補 委○	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
筋内脂肪浸潤と異所性骨化を決定するメカニズムの解明	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	1,200,000	補 委○	日本学術振興会
骨リモデリングにおける骨形成蛋白シグナルの骨吸収への影響の研究	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	500,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
β -catenin類似分子CTNNB1の骨芽細胞分化選別機能の解析	河村 一郎	整形外科・リウマチ外科	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
軟骨肉腫鑑別分子マーカーとしての尿素輸送体UT-Bの発現・機能解析	佐々木 裕美	整形外科・リウマチ外科	1,200,000	補 委○	日本学術振興会
後縦靭帯骨化症関連遺伝子CDC5Lの機能～新たな骨芽細胞コミットメント機構解明	富永 博之	整形外科・リウマチ外科	1,200,000	補 委○	日本学術振興会
内軟骨性骨化における後縦靭帯骨化症関連遺伝子STK38Lの役割と標的分子の解析	梶 博則	整形外科・リウマチ外科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
Undifferentiated pleomorphic sarcoma治療開発	泉 俊彦	整形外科・リウマチ外科	900,000	補 委○	日本学術振興会
CD147/basigin のTh 細胞分化と乾癬病態形成に関する包括的研究	金蔵 拓郎	皮膚科	2,100,000	補 委○	日本学術振興会
好中球機能からみた炎症性皮膚疾患の病態解明とその治療法の確立	東 裕子	皮膚科	1,200,000	補 委○	日本学術振興会
核内受容体をターゲットとしたHDAC阻害剤の併用療法の開発	藤井 一恭	皮膚科	900,000	補 委○	日本学術振興会
末梢血TCRV $\delta 1+\gamma \delta$ T細胞のCD107a発現に着目した円形脱毛症の病態解明	内田 洋平	皮膚科	1,900,000	補 委○	日本学術振興会
Src経路の制御によるHDAC阻害剤併用療法の可能性	地村 望	皮膚科	2,000,000	補 委○	日本学術振興会
Omenn症候群モデルマウスにおける皮膚炎発症メカニズムの解明	野元 裕輔	皮膚科	100,000	補 委○	公益信託 児玉記念基礎医学研究助成基金
硝子体学の発展的研究	坂本 泰二	眼科	5,000,000	補 委○	日本学術振興会
鹿児島県内(おもに肝付地区)眼科疾患の研究	坂本 泰二	眼科	500,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
北薩地区における成人眼疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
垂水地区における小中学生の眼疾患の疫学的調査	坂本 泰二	眼科	800,000	補 委○	垂水中央病院

6

小計20件

HTLV-1関連眼疾患の診断法確立のための臨床的研究	中尾 久美子	眼科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
眼軸長伸長に伴う眼底微細構造変化の解明	山下 高明	眼科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
ヒト極性網膜色素上皮細胞を用いた上皮間葉転換早期の病態解明	寺崎 寛人	眼科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
極性を持つ網膜色素上皮細胞を用いたβ A3/A1-crystallinの加齢黄斑変性の進行予防の機序解明	寺崎 寛人	眼科	1,000,000	補 委○	公益財団法人日本失明予防協会
ホスホリルコリンの二相作用を応用した新たな粘膜ワクチンの開発	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
垂水市内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	233,590	補 委○	垂水市
鹿児島県内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	572,950	補 委○	西之表市
下咽頭表在癌の深達度の治療前評価法の確立	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	補 委○	垂水中央病院
屋久島町における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	732,000	補 委○	屋久島町
鼻咽腔関連リンパ組織(NALT)の免疫記憶機能を応用した新規粘膜ワクチンの開発	大堀 純一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
粘膜免疫応答誘導型経皮ワクチンの開発	永野 広海	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
ホスホリルコリンによる細菌感染とアレルギー性炎症の制御に関する研究	川島 雅樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,900,000	補○ 委	日本学術振興会
ホスホリルコリン舌下投与によるアレルギー性鼻炎の制御機構に関する研究	牧瀬 高穂	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
ホスホリルコリン経鼻免疫追加による新たな肺炎球菌ワクチン接種プログラムの開発	問世田 佳子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
Toll様受容体リガンドを用いた自然免疫作動型感染症予防・治療薬開発に関する研究	馬越 瑞夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
消化器癌の放射線治療効果予測のための非侵襲的画像バイオマーカーの確立	福倉 良彦	放射線科	1,000,000	補 委○	公益財団法人三井生命厚生財団
子宮腫瘍におけるAACID imagingの有用性の検討	熊谷 雄一	放射線科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
抗癌剤分布を可視化するchemoCESTの開発と頭頸部悪性腫瘍への応用	内匠 浩二	放射線科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
細胞内タンパク画像化に基づく脳発達および新生児脳障害の定量的評価法の開発	米山 知秀	放射線科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
MRIpHイメージングによる運動器カテーテル塞栓療法の治療効果予測法の開発	林 完勇	放射線科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会

7

小計20件

放射線治療の予後判定の可能性(放射線抵抗性の獲得と癌の浸潤・転移との関連性)	犬童 寛子	顎顔面放射線科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
敗血症性腎障害におけるアドレナリン受容体の関与	上村 裕一	麻酔科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
周術期の免疫活性と術後痛の関連性に関する研究	長谷川 麻衣子	麻酔科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
慢性疼痛における痛覚伝導路でのヘム・オキシゲナーゼの鎮痛・発痛効果の検討	五代 幸平	麻酔科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
三叉神経領域の痛覚日内変動機構の解明ー効果的な時間薬物療法の確立に向けてー	杉村 光隆	歯科麻酔科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
左室拡張能、圧受容体反射感受性とパイオマーカによる術後心血管リスク因子の同定	梶谷 淳	歯科麻酔科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
加齢と全身麻酔が体内時計に与える影響;遺伝子改変マウスを用いた時間生物学的解析	佐古 沙織	歯科麻酔科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
聴覚を介する自律神経活動制御法の確立ー時計遺伝子欠損マウスでの検討と臨床応用ー	山下 薫	歯科麻酔科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
脳損傷後の運動障害に対して多様な物理的刺激を応用した新しいリハビリ技術の開発	下堂 蕙 恵	リハビリテーション科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
摂食嚥下障害に対する神経筋電気刺激の安全性および効果の検討;介入前後比較試験	下堂 蕙 恵	リハビリテーション科	300,000	補 委○	垂水中央病院
視覚反復刺激療法と大脳刺激による視野障害の治療法の開発と臨床応用	衛藤 誠二	リハビリテーション科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔細菌による動脈硬化発症における先天性免疫因子gp-340の機能解析	於保 孝彦	口腔保健科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔常在菌による誤嚥性肺炎発症機構の分子解析と宿主リスク評価法	山口 泰平	口腔保健科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔バイオフィルムによる動脈硬化誘発機序の解明ー菌種の多様性が導く病原性ー	長田 恵美	口腔保健科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
根面う蝕細菌種相互作用の解明に基づく高齢者口腔健康増進法の開発	小幡 純子	口腔保健科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
インプラント体周囲組織再生部のin situ bacteriologyの融合	藤島 慶	口腔保健科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
健康長寿社会を担う歯科医学教育改革	宮脇 正一	矯正歯科	800,000	補 委○	国立大学法人岡山大学
脳腸ペプチドによるストレス起因性顎口腔機能異常の改善に対する効果の検証	八木 孝和	矯正歯科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
自動埋入型骨固定装置による顎骨の成長促進が小児の睡眠呼吸障害に及ぼす効果の検討	友成 博	矯正歯科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
幼少期ストレス誘発性筋異常疼痛の治療に対する薬理遺伝学を用いた検討	古川 みなみ	矯正歯科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会

8

小計20件

脳腸モデルによる迷走神経の活性化を応用したブラキシズムの根本療法開発への基盤研究	菅 真有	矯正歯科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
不正咬合に起因する“顎口腔サルコペニア”の実態と内分泌・免疫系因子との関連	前田 綾	矯正歯科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
消化管運動促進薬とH2ブロッカーによる咀嚼筋障害に対する治療効果の検討	大賀 泰彦	矯正歯科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
食道内の酸クリアランス促進によりブラキシズムを抑制する経皮的刺激療法の開発	國則 貴玄	矯正歯科	2,100,000	補○ 委	日本学術振興会
カリウムイオン競合型アシッドブロッカーを応用したブラキシズムの根本療法の開発	永山 邦宏	矯正歯科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
小児の睡眠無呼吸時に変動する通気障害部位を検出可能にする気道流体解析モデルの構築	山崎 要一	小児歯科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
流体解析を応用したダウン症児OSASの部位特定と歯科的治療モデルの構築	佐藤 秀夫	小児歯科	300,000	補○ 委	日本学術振興会
遺伝子工学的手法による乳歯歯髄細胞からの体性幹細胞単離とその特性解析	稲田 絵美	小児歯科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
ダウン症児OSASの原因部位特定と上顎側方拡大・MFT併用療法の有効性の検討	橋口 真紀子	小児歯科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
マウス歯根形成端周囲組織への直接的遺伝子導入法(GTPT)の開発と応用	窪田 直子	小児歯科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔筋機能療法の小児閉塞性睡眠時無呼吸への有効性が検出可能な流体音響解析法の開発	菅 北斗	小児歯科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
口呼吸小児における口唇閉鎖訓練の有効性の検討とスクリーニング法の確立	村上 大輔	小児歯科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
流体解析を用いた口唇口蓋裂児の鼻腔通気障害改善方法の確立	伴 祐輔	小児歯科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
接着性覆髄剤を応用した新たなコンポジットレジン修復法の開発	西谷 佳浩	保存科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
In situ 組織工学アプローチを応用した生体内完結型歯周再生療法の新たな試み	白方 良典	歯周病科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
BMP9を用いた歯周組織細胞の分化制御メカニズムの解明と新規歯周再生療法への展開	中村 利明	歯周病科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
脱分化脂肪細胞集塊(C-DFAT)を用いた新規骨再生療法の開発	篠原 敬哉	歯周病科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
歯周組織の老化におけるGDF6の機能解析	瀬名 浩太郎	歯周病科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
BMP-9/MTAハイブリッド型直接覆髄剤を用いた新規象牙質再生療法の基盤確立	川上 克子	歯周病科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
妊娠性糖尿病におけるインスリン抵抗性亢進への歯周病の関与に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会

BMP9の歯周組織におけるSDF-1/CXCR4 axisを中心とした機能の解明	古江 きらら	歯周病科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
歯冠補綴装置の脱落を生じにくい支台築造用コンポジットレジンの開発	南 弘之	冠・ブリッジ科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
自己体性幹細胞の多軸的制御と可視的評価による萎縮顎骨の増生治療開発	西村 正宏	義歯補綴科	3,900,000	補○ 委	日本学術振興会
食味嗜好に対応する温度調節型保温法の開発とその有効性に関する多軸的評価	村上 格	義歯補綴科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
神経誘導による顎骨再生治療法の開発	末廣 史雄	義歯補綴科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
骨置換型材料を用いたオーダーメイド型骨造成法の開発	益崎 与泰	義歯補綴科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
MSCsを用いたオートファジー系を介する高度骨吸収治療法の開発研究	原田 佳枝	義歯補綴科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
析出型アパタイトによる内在性顎骨細胞の賦活化	田中 謙光	義歯補綴科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
高齢義歯装着患者の摂食機能と栄養状態の関連ならびに栄養食事指導効果の検証	峰元 洋光	義歯補綴科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
血中循環癌細胞のシングルセル解析による口腔癌次世代統合精密治療法の開発	杉浦 剛	口腔外科	5,600,000	補○ 委	日本学術振興会
薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	補 委○	薩摩川内市
長島町における住民の口腔疾患に関する調査研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	補 委○	長島町
カンジダ卵黄抗体と蛍光色素を用いた新しいカンジダ検出法の開発、簡便化と迅速化	上川 善昭	口腔外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌の浸潤・転移における低酸素応答がん幹細胞マーカーの意義	比地岡 浩志	口腔外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
HTLV-1関連シェーグレン症候群の病態解明に向けた免疫学的検討	田中 昭彦	口腔外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌の血管浸潤を介した遠隔転移における幹細胞遺伝子の機能解析と治療への展開	久米 健一	口腔外科	1,800,000	補○ 委	日本学術振興会
癌遺伝子ΔNp63とmicroRNAを介した癌の浸潤・転移機構の解析と治療応用	後藤 雄一	口腔外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌における循環癌細胞の分離による個別化治療法の開発	山下 麻由美	口腔外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
唾液/血液中の腫瘍核酸(cfDNAとmiRNA)による数理腫瘍学的な口腔癌診断法	中村 康大	口腔外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
新規ニューラルネットワークを用いた口蓋裂異常構音の可視化診断・訓練システムの開発	中村 典史	口腔顎顔面外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会

次世代型生体吸収性ハイドロキシアパタイト表面被覆Mg合金の骨内変化に関する研究	野添 悦郎	口腔顎顔面外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
歯性感染症における異種細胞相互作用ならびに細胞極性調節因子と感染防御能の関連解析	石畑 清秀	口腔顎顔面外科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
瘻痕拘縮抑制効果を示す自己治癒誘導型接着性多孔膜の開発	岐部 俊郎	口腔顎顔面外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
治療選択を目的とした唾液腺癌のsubtype分類の確立	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口蓋裂術後の言語障害の視覚的フィードバックを目指す新たな音声可視化システムの構築	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
VEGF-Cによるリンパ管新生効果は、骨再生・修復促進に関与するか？	村上 寿理	口腔顎顔面外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔がん患者のフレイルの多角的評価と縦断的な治療を実現する全人的医療の実践	鈴木 甫	口腔顎顔面外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
動物移植モデルを用いたエナメル上皮腫の浸潤形態の多様性に関わる因子の解明	淵上 貴央	口腔顎顔面外科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
無核の血小板・赤血球のプログラム細胞死の動態解析と病態検査学への導入展開	橋口 照人	検査部	4,500,000	補○ 委	日本学術振興会
HIV診療医師情報網支援事業	橋口 照人	検査部	199,000	補 委○	独立行政法人国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
細胞内代謝系を繋ぐp53分子による動脈硬化の統合的新解釈構築	山口 宗一	検査部	2,100,000	補○ 委	日本学術振興会
閉塞性動脈硬化症の診断治療の新パラダイム構築ーエクソソームを用いた検査学的展開	山口 宗一	検査部	4,300,000	補○ 委	日本学術振興会
VEGF増加は高内皮細静脈を増生させ、2次・3次リンパ組織のリモデリングを促す	竹之内 和則	検査部	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
漢方薬は慢性腎臓病の治療薬となり得るか？：漢方薬の炎症制御機構解明へのチャレンジ	大山 陽子	検査部	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
膝癌肝転移抑制因子ITIH5の肝転移抑制機構の解明と治療への応用	佐々木 健	手術部	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
高分解能エネルギー代謝MRイメージング法の開発と脳腫瘍への応用	吉浦 敬	放射線部	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
99mTc-MIBIイメージングによるミトコンドリア病の全身骨格筋評価法の開発	神宮司 メグミ	放射線部	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
MRI分子イメージングを用いた軟骨形成性腫瘍の悪性度評価法の開発	中條 正典	放射線部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
蘇生後脳症に対するチトクロームaa3酸化状態による脳モニタリング法の構築	垣花 泰之	救命救急センター	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
HMGB1致死性画分を標的とした新規敗血症治療戦略の構築	伊藤 隆史	救命救急センター	5,300,000	補○ 委	日本学術振興会

原子力災害拠点病院のモデルBCP及び外部評価等に関する調査及び開発	有嶋 拓郎	救命救急センター	201,709	補 委○	国立大学法人九州大学
下肢虚血再灌流障害におけるDAMPs(ヒストン、HMGB1)の動向	古別府 裕明	救命救急センター	900,000	補 委○	日本学術振興会
近赤外時間分解分光法を用いた非侵襲的リアルタイム脳酸素代謝モニタリング法の構築	江口 智洋	救命救急センター	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
IFALDの病態解明に基づく大建中湯を用いた新規治療法の開発	矢野 圭輔	救命救急センター	1,300,000	補 委○	日本学術振興会
NOSの補酵素テトラヒドロbiopterinの敗血症における動態と治療標的としての検討	安田 智嗣	集中治療部	900,000	補 委○	日本学術振興会
平成30年度HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業(実地研修事業)	古川 良尚	輸血・細胞治療部	160,000	補 委○	公益財団法人エイズ予防財団
HIV感染者等保健福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	750,000	補 委○	公益財団法人エイズ予防財団
女性ホルモンが神経障害性疼痛に及ぼす影響とその制御機構の解明	山形 和彰	全身管理歯科治療部	1,600,000	補 委○	日本学術振興会
痛みの神経回路—伝達系と抑制系の相互媒介を単一ニューロンレベルで解析する	大野 幸	全身管理歯科治療部	700,000	補 委○	日本学術振興会
遺伝子改変ブタを用いた病態高再現性の次世代型アルツハイマー病モデルの開発	谷本 昭英	病理部・病理診断科	4,200,000	補 委○	日本学術振興会
新生児壊死性腸炎に対するグレリンを用いた実験的予防治療法の開発	大西 峻	病理部・病理診断科	800,000	補 委○	公益財団法人川野小児医学奨学財団
膵胆管系腫瘍の早期診断と治療効果予測システム確立	東 美智代	病理部・病理診断科	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
短腸症候群腸内フローラと消化管ホルモン動態の相関解明に基づくIFALD予防法開発	大西 峻	病理部・病理診断科	1,300,000	補 委○	日本学術振興会
口腔粘膜前癌病変の病理診断基準の確立	仙波 伊知郎	病理部・病理診断科	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
自己免疫疾患モデルを用いた新規腫瘍発生制御免疫システムの解明	近藤 智之	病理部・病理診断科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
標準化学療法に不応・不耐の切除不能進行・再発大腸癌に対するTFTD(ロンサーフ)＋Bevacizumab併用療法のRAS遺伝子変異有無別の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相試験	盛 真一郎	光学医療診療部	0	補 委○	公益財団法人がん集学的治療研究財団
マイクロダイアリス法を用いた神経因性膀胱の病態に関わる脳内機構の解明	吉田 輝	リハビリテーション部	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
脳損傷者のfNIRSを用いたドライビングシミュレーター運転時の脳血流について	有馬 美智子	リハビリテーション部	3,200,000	補 委○	日本学術振興会
地域歯科医療教育の体系化とアウトカム基盤型教育への応用に関する研究	田口 則宏	歯科総合診療部	800,000	補 委○	日本学術振興会
2型糖尿病における歯周病原性細菌に対するインクレチン関連薬の影響	作田 哲也	歯科総合診療部	1,200,000	補 委○	日本学術振興会

歯学部学士課程におけるプロフェッショナリズムの醸成過程と影響因子の解明	大戸 敬之	歯科総合診療部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
難治癌の新規集学的治療開発: 遺伝子治療応答性への癌微小環境・悪液質の関わりと制御	上野 真一	腫瘍センター	900,000	補○ 委	日本学術振興会
多様な新ニーズに対応する「がん専門人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン	上野 真一	腫瘍センター	13,659,000	補 委○	国立大学法人九州大学
平成30年度肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	井戸 章雄	肝疾患相談センター	3,701,000	補 委○	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
平成30年度肝疾患診療地域連携体制強化事業業務	井戸 章雄	肝疾患相談センター	12,886,000	補 委○	鹿児島県
骨軟部肉腫への腫瘍溶解・免疫誘導・癌幹細胞制圧の革新的な遺伝子ウイルス治療の開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	4,100,000	補○ 委	日本学術振興会
独自開発の革新的な増殖制御型アデノウイルスの肉腫への承認申請を目指した医師主導治験	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	106,100,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
独自開発の全身性の腫瘍溶解性・免疫療法の非臨床開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	99,999,300	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
独自開発の全身性の腫瘍溶解性・免疫療法の非臨床開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	50,000,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
動脈硬化を基盤とした虚血性心臓病における新規マーカーの確立に関する探索的研究	吉野 聡史	医療器材管理部	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
ディープラーニング応用の医薬品相互作用シグナル検知システムの開発評価に関する研究	熊本 一朗	医療情報部	800,000	補○ 委	日本学術振興会
生活者としての高齢者を支える標準化された看護・介護ケア情報の構造化と連携	宇都 由美子	医療情報部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
人工知能を応用したデータマイニングによる糖尿病合併症危険因子発見に関する研究	村永 文学	医療情報部	700,000	補○ 委	日本学術振興会
地域包括ケアシステムにおける認知症患者の地域トータルケア量計算モデルの開発	岩穴口 孝	医療情報部	700,000	補○ 委	日本学術振興会
カテーテル関連敗血症に対する腸管粘膜の免疫誘導による新規治療法の開発	加治 建	総合臨床研修センター	900,000	補○ 委	日本学術振興会
長期絶食・経静脈栄養管理においてグレリンが消化管に与える影響に関する研究	山田 和歌	総合臨床研修センター	700,000	補○ 委	日本学術振興会
小児腸管内におけるESBL遺伝子と大腸菌病原遺伝子の水平伝播の実態解明	西 順一郎	医療環境安全部	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
地域サーベイランスシステムによる薬剤耐性菌伝播リスクの疫学的・細菌学的解析	川村 英樹	医療環境安全部	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
食道癌に対する個別化治療、予後予測を可能とするN型糖鎖マーカーの検索	内門 泰斗	医療環境安全部	500,000	補○ 委	日本学術振興会
平成30年度地域医療支援センター設置事業業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	21,800,000	補 委○	鹿児島県

13

小計20件

地域枠修学生離島・へき地医療実習等業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	4,491,720	補 委○	鹿児島県	14
神経接着分子Caspr4を介した神経精神疾患における新規治療戦略	武田 泰生	薬剤部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会	
一細胞微小液滴培養による血中循環がん細胞高感度検出法	寺菌 英之	薬剤部	2,700,000	補○ 委	日本学術振興会	
へき地診療所に派遣される看護師に対する教育研修システム構築のための基礎的研究	楠元 裕佳	看護部	700,000	補○ 委	日本学術振興会	
平成30年度地域における訪問看護職等人材育成支援事業業務委託	市村 カツ子	看護部	2,561,000	補 委○	鹿児島県	
GlycoCESTイメージングを用いた肝臓糖代謝定量イメージング法の確立	岩永 崇	臨床技術部	800,000	補○ 委	日本学術振興会	
血小板と感染症を結びつけるmicroRNAの機能解明	郡山 豊泰	臨床技術部	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会	
						計267件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ohishi M, Yoshida T, Nishigaki N, et al.	心臓血管内科	Antihypertensive treatment for hypertensive patients with heart failure using real-world Japanese data: subanalysis of the Retrospective study of antihypertensives for lowering blood pressure (REAL) study.	Clin Exp Hypertens. 2019 Mar 26;1-7.	Original Article
2	Ohishi M1.	心臓血管内科	Hypertension with diabetes mellitus: physiology and pathology.	Hypertens Res. 2018 Jun;41(6):389-393.	Review
3	Miyanaaga S, Kubota K, Iwatani N, et al.	心臓血管内科	Predictors of exercise-induced pulmonary hypertension in patients with connective tissue disease.	Heart Vessels. 2019 Mar 23.	Original Article
4	Horizoe Y, Takasaki K, Miyata M, et al.	心臓血管内科	Analysis of Biphasic Right Ventricular Outflow Doppler Waveform in Patients with Pulmonary Hypertension.	Int Heart J. 2019 Jan 25;60(1):108-114.	Original Article
5	Sonoda T, Takumi T, Miyata M, et al.	心臓血管内科	Validity of a Novel Method for Estimating Low-Density Lipoprotein Cholesterol Levels in Cardiovascular Disease Patients Treated with Statins.	J Atheroscler Thromb. 2018 Jul 1;25(7):643-652.	Original Article
6	Imoto Y, Matsuba T, Kanda H, et al.	心臓血管外科	Reimplantation of an anomalous left coronary artery with a malignant course.	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2018 Jul;26(6):473-475.	Case report
7	Nagatomi S, Matsumoto K, Imoto Y.	心臓血管外科	Spherical right atrial thrombus with a fibrous capsule and stalk.	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2018 Sep;26(7):580-581.	Case report
8	Mawatari S, Moriuchi A, Ohba F, et al.	消化器内科	The recovery of the PT-INR to less than 1.3 predicts survival in patients with severe acute liver injury.	J Gastroenterol. 2018 Jul;53(7):861-872.	Original Article
9	Komaki Y, Komaki F, Micic D, et al.	消化器内科	Risk of Colorectal Cancer in Chronic Kidney Disease: A Systematic Review and Meta-Analysis.	J Clin Gastroenterol. 2018 Oct;52(9):796-804.	Original Article
10	Kurahara H, Shinchi H, Ohtsuka T, et al.	消化器外科	Significance of neoadjuvant therapy for borderline resectable pancreatic cancer: a multicenter retrospective study.	Langenbecks Arch Surg. 2019 Mar;404(2):167-174.	Original Article

小計10件

11	Kurahara H, Maemura K, Mataki Y, et al.	消化器外科	Significance of 18F-- Fluorodeoxyglucose (FDG) Uptake in Response to Chemoradiotherapy for Pancreatic Cancer.	Ann Surg Oncol. 2019 Feb;26(2):644-651.	Original Article
12	Kurahara H, Maemura K, Mataki Y, et al.	消化器外科	A Therapeutic Strategy for Resectable Pancreatic Cancer Based on Risk Factors of Early Recurrence.	Pancreas. 2018 Jul;47(6):753- 758.	Original Article
13	Kurahara H, Maemura K, Mataki Y, et al.	消化器外科	Significance of Glucose Transporter Type 1 (GLUT-1) Expression in the Therapeutic Strategy for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	Ann Surg Oncol. 2018 May;25(5):1432-1439.	Original Article
14	Arigami T, Uchikado Y, Omoto I, et al.	消化器外科	Primary Tumor Score Based on Tumor Depth and Length Predicts Prognosis in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Anticancer Res. 2018 Sep;38(9):5447-5452.	Original Article
15	Sasaki K, Uchikado Y, Omoto I, et al.	手術部	Multidisciplinary therapy for metastatic primary malignant melanoma of the esophagus: A case report.	Mol Clin Oncol. 2018 Apr;8(4):533-538.	Case report
16	Kawasaki Y, Yans SJ, Choi GH, et al.	消化器外科	New scoring system for resectable hepatocellular carcinoma with a maximum tumor size of ≤5 cm based on preoperative tumor factors.	HPB (Oxford). 2019 Mar 25.	Original Article
17	Nomoto Y, Kijima Y, Shinden Y, et al.	消化器外科	Two cases of radiation-associated angiosarcoma of the breast.	Surg Case Rep. 2018 Nov 13;4(1):132.	Case report
18	Toda H, Kurozumi S, Kijima Y, et al.	消化器外科	Molecular pathogenesis of triple- negative breast cancer based on microRNA expression signatures: antitumor miR-204-5p targets AP1S3.	J Hum Genet. 2018 Dec;63(12):1197-1210.	Original Article
19	Idichi T, Seki N, Kurahara H, et al.	消化器外科	Involvement of anti-tumor miR- 124-3p and its targets in the pathogenesis of pancreatic ductal adenocarcinoma: direct regulation of ITGA3 and ITGB1 by miR-124-3p.	Oncotarget. 2018 Jun 22;9(48):28849-28865.	Original Article
20	Minami K, Hiwatashi K, Ueno S, et al.	消化器外科	Prognostic significance of CD68, CD163 and Folate receptor-β positive macrophages in hepatocellular carcinoma.	Exp Ther Med. 2018 May;15(5):4465-4476.	Original Article

小計10件

21	Idichi T, Seki N, Kurahara H, et al.	消化器外科	Molecular pathogenesis of pancreatic ductal adenocarcinoma: Impact of passenger strand of pre-miR-148a on gene regulation.	Cancer Sci. 2018 Jun;109(6):2013-2026.	Original Article
22	Kawasaki Y, Maemura K, Kurahara H, et al.	消化器外科	Usefulness of fluorescence vascular imaging for evaluating splenic perfusion.	ANZ J Surg. 2018 Oct;88(10):1017-1021.	Original Article
23	Kawasaki Y, Hwang HK, Kang CM, et al.	消化器外科	Improved perioperative outcomes of laparoscopic distal pancreateosplenectomy: modified lasso technique.	ANZ J Surg. 2018 Sep;88(9):886-890.	Original Article
24	Sakiyama Y, Matsuura E, Maki Y, et al.	脳神経内科	Peripheral neuropathy in a case with CADASIL: a case report.	BMC Neurol. 2018 Aug 31;18(1):134.	Case report
25	Higuchi Y, Okunishi R, Hara T, et al.	脳神経内科	Mutations in COA7 cause spinocerebellar ataxia with axonal neuropathy.	Brain. 2018 Jun 1;141(6):1622-1636.	Original Article
26	Yoshimura M, Yuan JH, Higashi K, et al.	脳神経内科	Correlation between clinical and radiologic features of patients with Gerstmann-Sträussler-Scheinker syndrome (Pro102Leu).	J Neurol Sci. 2018 Aug 15;391:15-21.	Original Article
27	Yamahata H, Niuro T, Mori M, et al.	脳神経外科	Is the atlas size associated with the pathophysiology of symptomatic spinal canal stenosis at the C1 level?	J Clin Neurosci. 2018 Nov;57:58-62.	Original Article
28	Misono S, Seki N, Mizuno K, et al.	呼吸器内科	Dual strands of the miR-145 duplex (miR-145-5p and miR-145-3p) regulate oncogenes in lung adenocarcinoma pathogenesis.	J Hum Genet. 2018 Oct;63(10):1015-1028.	Original Article
29	Uchida A, Seki N, Mizuno K, et al.	呼吸器内科	Regulation of KIF2A by Antitumor miR-451a Inhibits Cancer Cell Aggressiveness Features in Lung Squamous Cell Carcinoma.	Cancers (Basel). 2019 Feb 22;11(2).	Original Article
30	Uchida A, Seki N, Mizuno K, et al.	呼吸器内科	Involvement of dual-strand of the miR-144 duplex and their targets in the pathogenesis of lung squamous cell carcinoma.	Cancer Sci. 2019 Jan;110(1):420-432.	Original Article

小計10件

31	Uchida A, Sakaue K, Inoue H.	呼吸器内科	Epidemiology of asthma-chronic obstructive pulmonary disease overlap (ACO).	Allergol Int. 2018 Apr;67(2):165-171.	Review
32	Ueda A, Takeda N, Yokomakura M, et al.	呼吸器外科	Bronchial atresia in an accessory lobe caused tension pneumothorax	SURGICAL CASE REPORTS・2018.12	Case report
33	Nishimura H, Enokida H, Sakamoto T, et al.	泌尿器科	Immunoabsorption plasmapheresis treatment for the recurrent exacerbation of neuromyelitis optica spectrum disorder with a fluctuating anti-aquaporin-4 antibody level.	J Artif Organs. 2018 Sep;21(3):378-382.	Original Article
34	Itesako T, Eura R, Okamoto Y, et al.	泌尿器科	Oral Propranolol in a Child With Infantile Hemangioma of the Urethra.	Urology. 2018 Dec;122:165-168.	Original Article
35	Nishimura H, Yamada Y, Hisano S, et al.	泌尿器科	Long-term desensitization for ABO-incompatible living related kidney transplantation recipients with high refractory and rebound anti-blood type antibody: case report.	BMC Nephrol. 2018 Oct 5;19(1):254.	Case report
36	Tatarano S, Enokida H, Yamada Y, et al.	泌尿器科	Living Kidney Donor With Small Lymphocytic Lymphoma at the Time of Donation: A Case Report.	Transplant Proc. 2018 Oct;50(8):2581-2582.	Case report
37	Sakaguchi T, Yoshino H, Sugita S, et al.	泌尿器科	Bromodomain protein BRD4 inhibitor JQ1 regulates potential prognostic molecules in advanced renal cell carcinoma.	Oncotarget. 2018 May 1;9(33):23003-23017.	Original Article
38	Ishitsuka K, Utsunomiya A, Ishida T.	血液・膠原病内科	PD-1 Inhibitor Therapy in Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma.	N Engl J Med. 2018 Aug 16;379(7):695.	Letter
39	Yoshimitsu M, Utsunomiya A, Fuji S, et al.	血液・膠原病内科	A retrospective analysis of haplo-identical HLA-mismatch hematopoietic transplantation without posttransplantation cyclophosphamide for GVHD prophylaxis in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma.	Bone Marrow Transplant. 2018 Dec 13.	Original Article
40	Hazeki D, Ninomiya Y, Ueno K, et al.	小児科	Tentative Screening Criteria for Short QT Interval in Children and Adolescents.	Circ J. 2018 Sep 25;82(10):2627-2633.	Original Article

小計10件

41	Yamasaki Y, Takei S, Imanaka H, et al.	小児科	S100A12 and vascular endothelial growth factor can differentiate Blau syndrome and familial Mediterranean fever from systemic juvenile idiopathic arthritis.	Clin Rheumatol. 2019 Mar;38(3):835-840.	Original Article
42	Mukai M, Kaji T, Masuya R, et al.	小児外科	Long-term outcomes of surgery for choledochal cysts: a single-institution study focusing on follow-up and late complications.	Surg Today. 2018 Sep;48(9):835-840.	Original Article
43	Masuya R, Kaji T, Mukai M, et al.	小児外科	Predictive factors affecting the prognosis and late complications of 73 consecutive cases of esophageal atresia at 2 centers.	Pediatr Surg Int. 2018 Oct;34(10):1027-1033.	Original Article
44	Onishi S, Kaji T, Yamada W, et al.	小児外科	Ghrelin stimulates intestinal adaptation following massive small bowel resection in parenterally fed rats.	Peptides. 2018 Aug;106:59-67.	Original Article
45	Onishi S, Kaji T, Machigashira S, et al.	小児外科	The effect of intravenous lipid emulsions and mucosal adaptation following massive bowel resection.	J Pediatr Surg. 2018 Dec;53(12):2444-2448.	Original Article
46	Kamio M, Nagata C, Sameshima H, et al.	産科、婦人科	Obstructed hemivagina and ipsilateral renal anomaly (OHVIRA) syndrome with septic shock: A case report.	J Obstet Gynaecol Res. 2018 Jul;44(7):1326-1329.	Case report
47	Yanazume S, Karakida N, Higashi R, et al.	産科、婦人科	Tumor bleeding requiring intervention and the correlation with anemia in uterine cervical cancer for definitive radiotherapy.	Jpn J Clin Oncol. 2018 Oct 1;48(10):892-899.	Original Article
48	Yanazume S, Togami S, Fukuda M, et al.	産科、婦人科	New Continuous Barbed Suture Device with Stratafix for the Vaginal Stump in Laparoscopic Hysterectomy.	Gynecol Minim Invasive Ther. 2018 Oct-Dec;7(4):167-171.	Original Article
49	Kakoi H, Izumi T, Fujii Y, et al.	整形外科・リウマチ外科	Clinical outcomes of arthroscopic rotator cuff repair: a retrospective comparison of double-layer, double-row and suture bridge methods.	BMC Musculoskelet Disord. 2018 Sep 11;19(1):324.	Original Article
50	Sasaki H, Nagano S, Komiya S, et al.	整形外科・リウマチ外科	Validation of Different Nutritional Assessment Tools in Predicting Prognosis of Patients with Soft Tissue Spindle-Cell Sarcomas.	Nutrients. 2018 Jun 13;10(6).	Original Article

小計10件

51	Sasaki H, Nagano S, Taniguchi N, et al.	整形外科・リウマチ外科	Risk Factors for Surgical Site Infection after Soft-Tissue Sarcoma Resection, Including the Preoperative Geriatric Nutritional Risk Index.	Nutrients. 2018 Dec 3;10(12).	Original Article
52	Kawamura I, Tominaga H, Tanabe F, et al.	整形外科・リウマチ外科	Cervical Alignment of Anterior Cervical Hyperostosis Causing Dysphagia.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Mar 1;44(5):E269-E272.	Case report
53	Sasaki H, Nagano S, Yokouchi M, et al.	整形外科・リウマチ外科	Utility of intraoperative monitoring with motor-evoked potential during the surgical enucleation of peripheral nerve schwannoma.	Oncol Lett. 2018 Jun;15(6):9327-9332.	Original Article
54	Tominaga H, Oku M, Arishima Y, et al.	整形外科・リウマチ外科	Association between bone mineral density, muscle volume, walking ability, and geriatric nutritional risk index in hemodialysis patients.	Asia Pac J Clin Nutr. 2018;27(5):1062-1066.2018 May	Original Article
55	Saitoh Y, Bureta C, Sasaki H, et al.	整形外科・リウマチ外科	The histone deacetylase inhibitor LBH589 inhibits undifferentiated pleomorphic sarcoma growth via downregulation of FOS-like antigen 1.	Mol Carcinog. 2019 Feb;58(2):234-246.	Original Article
56	Saitoh Y, Setoguchi T, Yoshioka T, et al.	整形外科・リウマチ外科	Intraoperative evaluation of polymorphonuclear leukocyte during second-stage revision surgery promote overdiagnosis of persistent periprosthetic joint infection.	Acta Orthop Traumatol Turc. 2018 May;52(3):191-195.	Original Article
57	Kanekura T.	皮膚科	Clinical and immunological effects of adsorptive myeloid lineage leukocyte apheresis in patients with immune disorders.	J Dermatol. 2018 Aug;45(8):943-950.	Review
58	Fujii K, Suzuki N, Jimura N, et al.	皮膚科	HSP72 functionally inhibits the anti-neoplastic effects of HDAC inhibitors.	J Dermatol Sci. 2018 Apr;90(1):82-89.	Original Article
59	Uchida Y, Kanekura T.	皮膚科	Two cases of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus infection.	J Dermatol. 2018 May;45(5):e106-e107.	Original Article
60	Fujii K.	皮膚科	New Therapies and Immunological Findings in Cutaneous T-Cell Lymphoma.	Front Oncol. 2018 Jun 4;8:198.	Review

小計10件

61	Hatanaka M, Kanekura T.	皮膚科	Case of childhood granulomatous periorificial dermatitis.	J Dermatol. 2018 Sep;45(9):e256-e257.	Original Article
62	Baba N, Fujii K, Nomoto Y, et al.	皮膚科	Sézary syndrome in an anti-human T-cell lymphotropic virus type 1 seropositive carrier.	J Dermatol. 2019 Jan;46(1):e40-e41.	Original Article
63	Arimura A, Fujii K, Ibusuki A, et al.	皮膚科	Granulocyte and monocyte adsorption apheresis for palmoplantar pustulosis with extra-palmoplantar lesions and pustulotic arthro-osteitis.	J Dermatol. 2018 Jun;45(6):e167-e168.	Original Article
64	Okubo A, Fujii K, Arimura A, et al.	皮膚科	Hypohidrotic ectodermal dysplasia with strabismus.	J Dermatol. 2018 Jul;45(7):e191-e192.	Original Article
65	Jimura N, Fujii K, Higashi Y, et al.	皮膚科	Alopecia areata complicated with Good's syndrome.	Australas J Dermatol. 2018 Aug;59(3):e214-e215.	Original Article
66	Matsuoka A, Higashi Y, Kanekura T.	皮膚科	Successful treatment of plaque-type psoriasis by granulocyte and monocyte adsorption apheresis in a patient with psoriatic arthritis.	J Dermatol. 2018 Nov;45(11):e324-e325.	Original Article
67	Jimura N, Fujii K, Higashi Y, et al.	皮膚科	Idiopathic thrombocytopenic purpura in a patient with IgG4-related disease.	Clin Exp Dermatol. 2018 Dec;43(8):941-943.	Original Article
68	Baba A, Matsushita S, Kitayama K, et al.	皮膚科	Silk fibroin produced by transgenic silkworms overexpressing the Arg-Gly-Asp motif accelerates cutaneous wound healing in mice.	J Biomed Mater Res B Appl Biomater. 2019 Jan;107(1):97-103.	Original Article
69	Sonoda S, Terasaki H, Kakiuchi N, et al.	眼科	Kago-Eye2 software for semi-automated segmentation of subfoveal choroid of optical coherence tomographic images.	Jpn J Ophthalmol. 2019 Jan;63(1):82-89.	Original Article
70	Yamashita T, Terasaki H, Yoshihara N, et al.	眼科	Relationship between retinal artery trajectory and axial length in Japanese school students.	Jpn J Ophthalmol. 2018 May;62(3):315-320.	Original Article

小計10件

71	Yamashita T, Iwase A, Kii Y, et al.	眼科	Location of Ocular Tessellations in Japanese: Population-Based Kumejima Study.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2018 Oct 1;59(12):4963-4967.	Original Article
72	Yamashita T, Sakamoto T, Terasaki H, et al.	眼科	Best surgical technique and outcomes for large macular holes: retrospective multicentre study in Japan.	Acta Ophthalmol. 2018 Dec;96(8):e904-e910.	Original Article
73	Yamashita T, Iwase A, Sakai H, et al.	眼科	Differences of body height, axial length, and refractive error at different ages in Kumejima study.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2019 Feb;257(2):371-378.	Original Article
74	Shiihara H	眼科	Evaluation of Shape of Foveal Avascular Zone by Optical Coherence Tomography Angiography in Eyes With Branch Retinal Vein Occlusion	Journal of VitreoRetinal Diseases. 2018 May 1;2(3):138-145.	Original Article
75	Shiihara H, Terasaki H, Sonoda S, et al.	眼科	Objective evaluation of size and shape of superficial foveal avascular zone in normal subjects by optical coherence tomography angiography.	Sci Rep. 2018 Jul 4;8(1):10143.	Original Article
76	Shiihara H, Sonoda S, Terasaki H, et al.	眼科	Automated segmentation of en face choroidal images obtained by optical coherent tomography by machine learning.	Jpn J Ophthalmol. 2018 Nov;62(6):643-651.	Original Article
77	Terasaki H, Sonoda S, Kakiuchi N, et al.	眼科	Ability of MultiColor scanning laser ophthalmoscope to detect non-glaucomatous retinal nerve fiber layer defects in eyes with retinal diseases.	BMC Ophthalmol. 2018 Dec 17;18(1):324.	Original Article
78	Kawano S, Takeuchi M, Tanaka S, et al.	眼科	Current status of late and recurrent intraocular lens dislocation: analysis of real-world data in Japan.	Jpn J Ophthalmol. 2019 Jan;63(1):65-72.	Original Article
79	Ohori J, Jimura T, Kurono Y.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The role of phosphorylcholine-specific immune responses in the tonsils and peripheral blood on IgA nephropathy.	Acta Otolaryngol. 2018 Dec;138(12):1099-1104.	Original Article
80	Maseda Y, Ohori J, Tanaka N, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Mucosal and systemic immune response to sublingual or intranasal immunization with phosphorylcholine.	Auris Nasus Larynx. 2018 Apr;45(2):273-280.	Original Article

小計10件

81	Fukukura Y, Kumagae Y, Higashi R, et al.	放射線科	Extracellular volume fraction determined by equilibrium contrast-enhanced multidetector computed tomography as a prognostic factor in unresectable pancreatic adenocarcinoma treated with chemotherapy.	Eur Radiol. 2019 Jan;29(1):353-361.	Original Article
82	Kamimura K, Nakajo M, Yoneyama T, et al.	放射線科	Amide proton transfer imaging of tumors: theory, clinical applications, pitfalls, and future directions.	Jpn J Radiol. 2019 Feb;37(2):109-116.	Review
83	Nakajo M, Jinguji M, Shinaji T, et al.	放射線科	¹⁸ F-FDG-PET/CT features of primary tumours for predicting the risk of recurrence in thyroid cancer after total thyroidectomy: potential usefulness of combination of the SUV-related, volumetric, and heterogeneous texture parameters.	Br J Radiol. 2019 Feb;92(1094):20180620.	Original Article
84	Ueyama T, Arimura T, Takumi K, et al.	放射線科	Risk factors for radiation pneumonitis after stereotactic radiation therapy for lung tumours: clinical usefulness of the planning target volume to total lung volume ratio.	Br J Radiol. 2018 Jun;91(1086):20170453	Original Article
85	Moriyama T	麻酔科	Effects of L-Carnitine on Propofol-Induced Inhibition of Free Fatty Acid Metabolism in Fasted Rats and in Vitro	Open Journal of Anesthesiology.2018May;8:147-158	Original Article
86	Godai K, Hasegawa- Moriyama M, Matsunaga A, et al.	麻酔科	Phenylephrine does not improve oxygenation during one-lung ventilation: A randomized, double-blind, cross-over study.	PLoS One. 2018 Apr 9;13(4):e0195576.	Original Article
87	Godai K, Kanmura Y.	麻酔科	Heme oxygenase-1 inducer and carbon monoxide-releasing molecule enhance the effects of gabapentinoids by modulating glial activation during neuropathic pain in mice.	Pain Rep. 2018 Aug 6;3(5):e677.	Original Article
88	Iwakawa S, Kanmura Y, Kuwaki T.	麻酔科	Orexin Receptor Blockade-Induced Sleep Preserves the Ability to Wake in the Presence of Threat in Mice.	Front Behav Neurosci. 2019 Jan 8;12:327.	Original Article
89	Harada H, Kashiwadani H, Kanmura Y, et al.	麻酔科	Linalool Odor-Induced Anxiolytic Effects in Mice.	Front Behav Neurosci. 2018 Oct 23;12:241.	Original Article
90	Yamashita K, Kohjitani A, Miyata M, et al.	歯科麻酔科	Predictive Factors of Postoperative Blood Pressure Abnormalities Following a Minor-to-Moderate Surgery.	Int Heart J. 2018 Nov 28;59(6):1359-1367.	Original Article

小計10件

91	Etoh S, Noma T, Miyata R, et al.	リハビリテーション科	Effects of Repetitive Facilitative Exercise on Spasticity in the Upper Paretic Limb After Subacute Stroke.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2018 Oct;27(10):2863-2868.	Original Article
92	Kawamura K, Etoh S, Shimodozono M.	リハビリテーション科	Transcranial magnetic stimulation for diplopia in a patient with spinocerebellar ataxia type 6: a case report.	Cerebellum Ataxias. 2018 Nov 20;5:15.	Case report
93	Iwasaki T, Suga H, Yanagisawa-Minami A, et al.	小児歯科	Relationships among tongue volume, hyoid position, airway volume and maxillofacial form in paediatric patients with Class-I, Class-II and Class-III malocclusions.	Orthod Craniofac Res. 2019 Feb;22(1):9-15.	Original Article
94	Murakami M	義歯補綴科	Application of a bedtime obturator prosthesis for an edentulous patient with an extensive maxillary defect.	Dental Oral Biology and Craniofacial Research 2018 April; 1:1-4	Case report
95	Murakami M	義歯補綴科	Effects of Storage Temperatures and Type of Oral Moisturizers on their Antifungal Effects.	Oral Health and Dental Management 2018; December,17(6): 1-6.	Original Article
96	Ishihata K, Kakihana Y, Yoshimura T, et al.	口腔顎顔面外科	Assessment of postoperative complications using E-PASS and APACHE II in patients undergoing oral and maxillofacial surgery.	Patient Saf Surg. 2018 Apr 5;12:3.	Original Article
97	Fuchigami T	口腔顎顔面外科	Comparison of short-term effects of pre-surgical nasoalveolar molding and Hotz's plate on the maxillary arch from in unilateral cleft lip and palate.	J Oral Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology, 2019 31Janu: 25-30.	Original Article
98	Namino F, Yamakuchi M, Iriki Y, et al.	検査部	Dynamics of Soluble Thrombomodulin and Circulating miRNAs in Patients with Atrial Fibrillation Undergoing Radiofrequency Catheter Ablation.	Clin Appl Thromb Hemost. 2019 Jan-Dec;25:1076029619851570.	Original Article
99	Koriyama T, Yamakuchi M, Takenouchi K, et al.	検査部	Legionella pneumophila infection-mediated regulation of RICTOR via miR-218 in U937 macrophage cells.	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Jan 8;508(2):608-613.	Original Article
100	Sasaki K, Uchikado Y, Omoto I, et al.	手術部	Neoadjuvant chemoradiotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil (DCF-RT) for locally advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Cancer Chemother Pharmacol. 2019 Mar;83(3):581-587.	Original Article

小計10件

101	Kakihana Y, Kamikokuryo C, Furubeppu H, et al.	集中治療部	Monitoring of Brain Oxygenation During and After Cardiopulmonary Resuscitation: A Prospective Porcine Study.	Adv Exp Med Biol. 2018 Aug;1072:83-87.	Original Article
102	Ueno K, Seki S, Shiokawa N, et al.	周産母子センター	Validation of acute kidney injury according to the modified KDIGO criteria in infants after cardiac surgery for congenital heart disease.	Nephrology (Carlton). 2019 Mar;24(3):294-300.	Original Article
103	Nakame K, Hamada R, Suzuhigashi M, et al.	周産母子センター	Rare case of ectopic pancreas presenting with persistent umbilical discharge.	Pediatr Int. 2018 Sep;60(9):891- 892.	Original Article
104	Ohno S, Kohjitan A, Miyata M, et al.	全身管理歯科治療部	Recovery of Endothelial Function after Minor-to-Moderate Surgery Is Impaired by Diabetes Mellitus, Obesity, Hyperuricemia and Sevoflurane-Based Anesthesia.	Int Heart J. 2018 May 30;59(3):559-565.	Original Article
105	Honjo K, Hamada T, Yoshimura T, et al.	病理部	PCP4/PEP19 upregulates aromatase gene expression via CYP19A1 promoter I.1 in human breast cancer SK-BR-3 cells.	Oncotarget. 2018 Jul 3;9(51):29619-29633.	Original Article
106	Kirishima M, Yamada S, Shinya M, et al.	病理部	An autopsy case of epignathus (immature teratoma of the soft palate) with intracranial extension but without brain invasion: case report and literature review.	Diagn Pathol. 2018 Dec 22;13(1):99.	Case report
107	Akihiro S, Taira Y, Maeda K, et al.	リハビリテーション部	Feasibility and effectiveness of home-based exercise programs on physical performance and health- related quality of life of the older people dwelling on an isolated, doctor-less island.	Geriatr Gerontol Int. 2018 Sep;18(9):1313-1317.	Original Article
108	Matsunaga M, Kodama Y, Maruyama S, et al.	医療環境安全部	Guillain-Barré syndrome and optic neuritis after Mycoplasma pneumoniae infection.	Brain Dev. 2018 May;40(5):439- 442.	Case report
109	Miyamoto S, Ito T, Terada S, et al.	医療環境安全部	Fulminant myocarditis associated with severe fever with thrombocytopenia syndrome: a case report.	BMC Infect Dis. 2019 Mar 18;19(1):266.	Case report
					小計9件
					計109件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	井本浩	心臓血管外科	Jatene手術における冠状動脈移植術. まい・てくにつく	胸部外科. 71(6):414, 2018	Review
2	井本浩	心臓血管外科	江口論文に対するEditorial Comment	心臓. 50(7): 782-783, 2018	Review
3	永富脩二、松本和久、向原公介、他	心臓血管外科	Papillary heads optimizationによる僧帽弁形成術を行った僧帽弁閉鎖不全症	胸部外科. 72(3): 184-189, 2019	Case report
4	田辺寛、石神純也、南曲康多、他	消化器外科	腰部肋間斜切開創の腹壁癒痕ヘルニアに対して腹腔鏡下に修復した1例	日本内視鏡外科学会雑誌・2018 Sep; 683-7	Case report
5	岡本康裕	小児科	ダウン症候群に合併した急性リンパ性白血病.	日本小児血液・がん学会雑誌55 (3): 217-222, 2018	Review
6	家入里志、村上雅一、馬場徳朗、他	小児外科	胎児・新生児・小児用デバイス開発の動向	日本コンピュータ外科学会誌(1344-9486)20巻3号 Page154-57(2018.08)	Original Article
7	家入里志、大西峻、山田耕嗣、他	小児外科	外科医のトレーニング 技術の継承とは 小児外科疾患に対する網羅的手術シミュレータの開発と検証 開放手術と内視鏡外科手術の双方の技術伝承を目指して	日本外科学会雑誌(0301-4894)120巻1号 Page91-94(2019.01)	Review
8	中目和彦、山田和歌、川野孝文、他	小児外科	腫瘍破裂により心タンポナーデをきたした縦隔成熟奇形腫の1小児例	日本小児血液・がん学会雑誌(2187-011X)55巻5号 Page427-431(2019.01)	Case report
9	榊屋隆太、連利博、中目和彦、他	小児外科	胆道閉鎖症葛西手術術後患者における自己肝生存率に対する予後因子の検討	日本小児外科学会雑誌(0288-609X)54巻7号 Page1324-1331(2018.12)	Original Article
10	中目和彦、矢野圭輔、大西峻、他	小児外科	当科における過去30年間の腹壁異常手術症例の検討	日本小児外科学会雑誌(0288-609X)54巻7号 Page1316-1323(2018.12)	Original Article

小計10件

11	中目和彦、山田耕嗣、山田和歌、他	小児外科	呼吸障害を呈し新生児期に発症した梨状窩瘻の3例 自験例を含む本邦報告37例集計の検討	日本小児外科学会雑誌 (0288-609X)54巻5号 Page1117-1123(2018.08)	Case report
12	町頭成郎、向井基、大西峻、他	小児外科	出生前に羊水過多を認めた肥厚性幽門狭窄症の2例	日本小児外科学会雑誌 (0288-609X)54巻2号 Page264-267(2018.04)	Case report
13	馬場徳朗、川野孝文、池江隆正、他	小児外科	限局性十二指腸拡張症の1例	日本小児外科学会雑誌 (0288-609X)54巻6号 Page1231-1235(2018.10)	Case report
14	小林裕明	産科、婦人科	機能温存手術と鏡視下手術	研修ノート 婦人科がん医療の近未来,2018 Aug,101:6-9	Review
15	神尾真樹、古謝将鷹、唐木田智子、他	産科、婦人科	流産後に発症した後天性子宮動脈奇形の一例	鹿児島産科婦人科学会雑誌.2019 Mar;27:68-72	Case report
16	藤元祐介、瀬戸口啓夫、川上広高、他	整形外科・リウマチ外科	Taper wedge型ステムJ-Taperの前捻角度に相関する因子の解析	Hip Joint 44(1):577-581, 2018 Aug	Original Article
17	今村勝行、格谷義徳、大山洋平、他	整形外科・リウマチ外科	Posterior-Stabilized TKAにおける大腿骨後顆骨切り量のImplant Gapに及ぼす影響	日本人工関節学会誌 48:437-438, 2018 Dec	Original Article
18	今村勝行、金光成、大山洋平、他	整形外科・リウマチ外科	Changeable neck Zweymüller型ステム遠位部で折損を来した1例	日本人工関節学会誌 48:563-564, 2018 Dec	Case report
19	今村勝行、格谷義徳、大山洋平、他	整形外科・リウマチ外科	PS-mobile Design の変更が術中Implant Gapと不安定性に及ぼす影響について～Vanguard RPとVanguard PSRPの比較～	日本人工関節学会誌 48:611-612, 2018 Dec	Original Article
20	指宿敦子、坂ノ上正直、東裕子、他	皮膚科	【小児先天性皮膚疾患】臨床例 脂腺母斑上に生じた毛芽腫	皮膚病診療. 2019 Jan; 41:37-40	Original Article

小計10件

21	地村望、藤井一恭、青木恵美、他	皮膚科	【小児先天性皮膚疾患】臨床例 neurocutaneous melanosis	皮膚病診療. 2019 Jan; 41:33-6	Original Article
22	園田祥三	眼科	抗VEGF治療セミナー VEGFと網膜色素上皮	あたらしい眼科 36巻2号 Page239-240(2019.02)	Review
23	園田祥三、坂本泰二、椎原秀樹、他	眼科	生体イメージングと眼病理画像解析への時間軸の導入を目指して 画像工学による網脈絡膜疾患の数量的解析	日本眼科学会雑誌 123巻3号 Page260-283(2019.03)	Review
24	上笹貫太郎	眼科	手術手技のコツ 眼瞼再建術に用いる遊離グラフト採取	眼科手術 31巻2号 Page239-242(2018.04)	Review
25	山下高明	眼科	【7年前の常識は現在の非常識!-眼科診療の最新標準】緑内障 診断 緑内障診断に近視が与える影響	臨床眼科 72巻11号 Page158-162(2018.10)	Review
26	山下敏史	眼科	【7年前の常識は現在の非常識!-眼科診療の最新標準】網膜・硝子体疾患 Special Lecture 黄斑円孔手術後についてむきは必要か?	臨床眼科 72巻11号 Page282-285(2018.10)	Review
27	上笹貫太郎	眼科	【7年前の常識は現在の非常識!-眼科診療の最新標準】神経・外眼部・腫瘍などの疾患 外眼部疾患 睫毛内反手術	臨床眼科 72巻11号 Page352-357(2018.10)	Review
28	山下高明	眼科	【緑内障診断のためのOCT読影】乳頭周囲網膜神経線維層の評価	眼科 61巻1号 Page3-8(2019.01)	Review
29	上笹貫太郎、花田朋子、花谷亮典、他	眼科	角膜混濁と眼痛で発見に至ったcolobomatous cystの1例	日本眼科学会雑誌 123巻1号 Page39-44(2019.01)	Case report
30	中澤祐則、石川均	眼科	日本毒性学会との連携 基礎から臨床へのトランスレーショナルトキシコロジー(第9回) 網膜・視神経毒性 臨床中毒学と非臨床毒性学の融合 中毒性視神経症の臨床	中毒研究 31巻3号 Page285-290(2018.09)	Review

小計10件

31	寺崎寛人、椎原秀樹、園田祥三	眼科	【OCTアンギオグラフィを始めるために-コツと落とし穴】将来への可能性	臨床眼科 72巻13号 Page1685-1691(2018.12)	Review
32	中澤祐則	眼科	【全身治療薬と眼障害】視神経障害	眼科 61巻2号 Page145-151(2019.02)	Review
33	川野純廣、園田祥三	眼科	【完全マスター加齢黄斑変性アップデート2019】加齢黄斑変性に対する新しい疾患概念 Pachychoroid Spectrum Disease	あたらしい眼科 36巻2号 Page151-159(2019.02)	Review
34	松尾敬介、五代幸平、上村裕一	麻酔科	プロポフォール注入症候群 既往患者における運動誘発電位モニタリング下頭蓋内腫瘍摘出術の麻酔経験	麻酔. 2018 June;67:621-623	Original Article
35	大濱倫太郎、下堂菌恵	リハビリテーション科	外来で必要な脳卒中診療のエッセンス:リハビリテーション	臨床と研究 2018 Oct;95:79-85,	Review
36	三浦聖史、下堂菌恵	リハビリテーション科	医学と医療の最前線:最新の脳卒中リハビリテーション-運動障害へのアプローチを中心に	日本内科学会雑誌 2019 Feb;108:283-288	Review
37	瀬戸口春香、菊野聡美、稲田淳、他	リハビリテーション部	左側頭・頭頂葉病変により Gerstmann症候群様の症状を呈した非右利き一症例における左右識別と数処理の特徴	鹿児島高次脳機能研究会誌 2018;29(1):37-41,	Case report
38	中野由、小幡純子、西山毅、他	口腔保健科	食道癌術後の繰り返す誤嚥性肺炎予防のため口腔衛生管理を継続している一症例	口腔衛生会誌. 2019 Jan; 69(1): 43-47	Case report
39	中村利明、白方良典、篠原敬哉、他	歯周病科	Bone morphogenetic protein-9 (BMP-9)の歯周・骨組織再生療法への応用の可能性	日本歯周病学会会誌. 2019 Mar (オンライン)	Review
40	末廣史雄、西村正宏.	義歯補綴科	シリーズ/補綴医に贈る再生医療の話 第1回「補綴領域で目指す再生医療」	日本補綴歯科学会誌 2018; 10(2): 105-110.	Review

小計10件

41	田中謙光、大竹義雄、山内健介、他	義歯補綴科	東北大学病院歯科インプラントセンター開設1年間の臨床統計.	東北大歯誌 2018; 35/36(2/1):39-45.	Original Article
42	上川 善昭	口腔外科	菌交代現象とは	(一社)日本有病者歯科医療学会編、有病者歯科学、109-111、永末書店、2018	Others
43	上川 善昭	口腔外科	口腔カンジダ症薬物療法の現状と新規薬剤への期待	日本口腔感染症学会雑誌 2018	Others
44	中村典史、石畑清秀、小松澤均	口腔顎顔面外科	歯根嚢胞- 生体バリアの最前線としての嚢胞裏装上皮を考える	歯界展望, 2019 Oct, 133:47-56.	Review
45	石畑清秀、中村典史	口腔顎顔面外科	歯性感染病奏における上皮形成の意義	月間「細胞」. 50, 2018 Oct: 485-489.	Review
46	鈴木甫、山口幸二郎、杉浦剛、他	口腔顎顔面外科	鹿児島大学病院口腔顎顔面センターにおける口腔顎慢性疼痛治療アルゴリズム	Teethful, 2018 137: 11-13	Review
47	瀧上貴央、岐部俊郎、木村奈美子、他	口腔顎顔面外科	顎裂部自家腸骨海綿骨移植術における再骨部の術後創部状態はRoher Indexと関連する	日口蓋誌 2018 April : 43(1): 6-11	Original Article
48	橋口照人	検査部	【血栓止血の臨床-研修医のために[第2版]】検査 採血から検査結果の解釈まで(解説/特集)	日本血栓止血学会誌 (0915-7441)29巻6号 Page545-549(2018.12)	Others
49	山口宗一	検査部	【ポストゲノムダイナミクスと検査医学への展望】検査医学へつながるmiRNA研究(解説/特集)	臨床化学(0370-5633)47巻3号 Page229-236(2018.07)	Review
50	矢野圭輔、川野孝文、中目和彦、他	救命救急センター	高吸水性樹脂素材の玩具誤飲により腸閉塞を来した幼児の一例	日本小児救急医学会雑誌 (1346-8162)18巻1号 Page71-75(2019.02)	Case report

小計10件

51	横山勢也、東美智代、谷本昭英、他	病理部	膵疾患のエピジェネティクス 膵癌におけるメチル化による Mチン発現調節	肝・胆・膵 2018 May; 76: 945-50	Review
52	霧島茉莉、東美智代、後藤優子、他	病理部	消化管出血で発見された膵 十二指腸動静脈奇形の1例	診断病理 2019 Jan; 36: 39-45	Case report
53	田口則宏、馬場麻人、美島健二、他	歯科総合診療部	歯科医学教育者のための ワークショップ(富士研)～こ れまでとこれから～	日本歯科医学教育学会雑 誌 2018 Dec, 34:3,82-86 (オンライン)	Others
54	田口則宏	歯科総合診療部	第8回歯科医学教育者のた めのワークショップ運営記	日本歯科医学教育学会雑 誌 2018 Dec, 34:1,13-16 (オンライン)	Others
55	大戸敬之、中山歩、作田哲也、他	歯科総合診療部	離島での総合歯科医師の成 長プロセスについての1 考察 —島の—歯科医師の語りか らの分析手法の検討—	日本総合歯科学会雑誌 2018 Dec, 10:1, 27-32 (オ ンライン)	Original Article
56	岩穴口孝、宇都由美子、村永文学、他	医療情報部	SOFASコアおよび認知症の 有無による医療資源投資量 への影響分析	日本医療情報学会看護学 術大会論文集,19,p53- 56(2018.07)	Original Article
57	富岡勇也、松山洋美、鶴木泰自、他	臨床研修センター	若年男性に発症した気管支 原発粘表皮癌の1例.	気管支学 2019 Mar;41(2),193-197	Case report
58	戸崎緑、山城佳織、松下友香、他	看護部	精神疾患合併妊婦支援のた めの育児支援カンファレンス の現状と課題	鹿児島県母性衛生学会 誌,23,p40-44(2019.2)	Original Article
59	伊藤成美	看護部	鹿児島県内の産後ケア事業 の実施状況の現状調査	鹿児島県母性衛生学会 誌,23,p36-39(2019.2)	Original Article
60	坂元可奈、上村華奈、谷口智美、他	看護部	子宮頸癌により中期中絶を 選択した患者の思い 子宮 頸癌と中期中絶に関する文 献検討から	鹿児島県母性衛生学会 誌,23,p30-35(2019.2)	Original Article

小計10件

61	中條三紀子、 山本直子	看護部	小児患者に付き添う家族への 身体面・精神面へのケアに 関する文献検討	鹿児島県母性衛生学会 誌,23,p18-24(2019.2)	Original Article
62	尾ノ上靖子、 猿渡和子、南 波千恵美、他	看護部	出生前相談から関わった口 唇口蓋裂児を持つ母親の思 い	鹿児島県母性衛生学会 誌,23,p9-17(2019.2)	Original Article
63	松留英莉香、 中山みゆき、 楠園美香、他	看護部	当院看護師が綴るNICU児の 日記帳についての思い	鹿児島県母性衛生学会 誌,23,p3-8(2019.2)	Original Article
64	十田慎吾、野 間しほこ、中 野圭菜、他	看護部	地域施設見学研修がICU看 護師にもたらした影響	日本看護学会論文集:急 性期看護,49,p162- 165(2019.03)	Original Article
65	福田ゆかり、 宇都由美子、 田代由美子、 他	看護部	病院再開発過程における病 床数削減による退院支援体 制の再構築-退院支援ラウン ドを通して	日本医療情報学会看護学 術大会論文集,19,p205- 206(2018.07)	Original Article
~					

小計5件

計65件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会設置者の責務、倫理委員会の役割・責務、倫理委員会の構成・業務・運営、記録の保存、調査・審議の受託、外部倫理審査委員会の利用、守秘義務等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、委員会の設置、申告書の提出、指導等、異議申立て、情報開示等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 1. 本学発のがんへのウイルス医薬の開発と南九州先端医療開発センターの展望 2. 臨床研究法と利益相反管理について	

- (注) 前年度の実績を記載すること。



(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師として共通に求められている基礎的知識、技術、マナー等の修得を目指したいわゆる初期臨床研修（2年間）を修了した医師は、その後も引き続き研修を行うことになるが、（各診療科により異なるが通算して概ね5～6年の研修期間）その間、各科の指導医のもと入院患者及び外来患者の診療に従事するとともに、症例検討会、抄読会並びに種々のカンファレンス等に参加することにより一層の研鑽を行うことはもとより、地域のメディカルセンターとしてより先端的な医療の開発、研究を行っているとともに、それぞれの専門的な高度の知識と技術の修得に努めている。

また、それぞれの科の標榜するための条件となると思われる各科関連学会の定める専門医、認定医の資格取得のための指導体制も十分に整っている。

その他、日進月歩の医学の世界において医師の生涯学習の観点から、地域の病院との連携を促進し地域医療の発展に寄与することを目的とした「研修登録医」制度を設け、本学医学部附属病院において病棟回診、症例検討会その他の研究会並びに患者の診療等に参加することを通じて、先端的な知識や技術を修得するために1年間の研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	137人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大石 充	心臓血管内科	部門科長	29年	
井戸 章雄	消化器内科	部門科長	35年	
高嶋 博	脳神経内科	部門科長	29年	
石塚 賢治	血液・膠原病内科	部門科長	30年	
井上 博雅	呼吸器内科	部門科長	34年	
西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	部門科長	34年	
浅川 明弘	心身医療科	部門科長	25年	
吉浦 敬	放射線科	部門科長	30年	
下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	部門科長	30年	
金蔵 拓郎	皮膚科	部門科長	34年	
夏越 祥次	消化器外科	部門科長	38年	
井本 浩	心臓血管外科	部門科長	39年	
佐藤 雅美	呼吸器外科	部門科長	37年	
吉本 幸司	脳神経外科	部門科長	24年	
中川 昌之	泌尿器科	部門科長	38年	
谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	部門科長	16年	
坂本 泰二	眼科	部門科長	34年	
黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部門科長	39年	

家入 里志	小児外科	部門科長	25年
佐野 輝	神経科精神科	部門科長	38年
河野 嘉文	小児科	部門科長	38年
小林 裕明	産科・婦人科	部門科長	34年
上村 裕一	麻酔科	部門科長	39年
於保 孝彦	口腔保健科	部門科長	36年
宮脇 正一	矯正歯科	部門科長	31年
山崎 要一	小児歯科	部門科長	36年
西谷 佳浩	保存科	部門科長	23年
野口 和行	歯周病科	部門科長	33年
南 弘之	冠・ブリッジ科	部門科長	30年
西村 正宏	義歯補綴科	部門科長	25年
杉浦 剛	口腔外科	部門科長	28年
橋口 照人	検査部	部長	33年
垣花 泰之	救命救急センター(救急科)・集中治療部	部長	33年
古川 良尚	輸血・細胞治療部	部長	35年
谷本 昭英	病理部	部長	31年
田口 則宏	歯科総合診療部	部長	25年
川村 英樹	感染制御部門	部門長	19年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

研修の主な内容	期間	回数(回)	参加人数(人)
持続脳波モニタリング勉強会	平成 30 年度	1	20
腎移植に関する研修	平成 30 年度	2	15
泌尿器癌看護マネージメント	平成 30 年度	1	15
鹿児島大学病院歯科インプラント研修会	平成 30 年 4 月 25 日 ～平成 31 年 3 月 27 日	12	52
鹿児島大学公開講座 第 1 回摂食嚥下リハビリテーション研修講座	平成 30 年 9 月 5 日 ～11 月 21 日	8	119
インプラントカンファレンス	平成 30 年 4 月 16 日 ～平成 31 年 3 月 13 日	11	44
HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業	平成 30 年 9 月 6 日 ～9 月 28 日	1	4
ゲノム医療講習会	平成 30 年度	1	30
緩和ケアセンター公開セミナー「がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方」	平成 31 年 1 月 19 日	1	33
看護部 各種研修(教育理念・目標に基づき年間教育計画を策定し、実施・評価)	平成 30 年度	別紙参照	別紙参照

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

研修の主な内容	期間	回数(回)	参加人数(人)
新規放射線取扱者教育訓練1回目	平成 30 年 5 月 14 日～15 日	1	100
新規放射線取扱者教育訓練2回目	平成 30 年 6 月 13 日～14 日	1	100
補綴科合同連絡会	平成 30 年 4 月 14 日 ～平成 31 年 3 月 14 日	11	48
インプラント専門外来担当者会議	平成 30 年 4 月 16 日 ～平成 31 年 3 月 13 日	11	33
がん登録における収集と活用の現在と展望	平成 30 年度	1	150

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

研修の主な内容	期間	回数(回)	参加人数(人)
第 409 回病院薬物療法研修会	平成 30 年 9 月 18 日	1	90
第 188 回日本医学放射線学会九州地方会 第 54 回日本核医学会九州地方会 領域講習・核医学	平成 31 年 2 月 9 日	1	200
第 188 回日本医学放射線学会九州地方会 第 54 回日本核医学会九州地方会 領域講習・腹部	平成 31 年 2 月 10 日	1	200
鹿児島大学病院歯科インプラント研修会	平成 30 年 4 月 25 日 ～平成 31 年 3 月 27 日	12	53
鹿児島大学公開講座 第 1 回摂食嚥下リハビリテーション研修講座	平成 30 年 4 月 16 日 ～平成 31 年 3 月 13 日	11	152
講演会(がん登録の意義)とワークショップ	平成 30 年度	1	140
講演会(大災害時の緩和ケア)とワークショップ	平成 30 年度	1	150
ELNEC-J コアカリキュラム 2018 看護師教育プログラム	平成 30 年 8 月 18 日 (土) 9:00～17:30 平成 30 年 8 月 19 日 (日) 9:00～17:15	1	21
専門・特定・認定看護師会公開講座「高齢がん患者の意思決定支援」	平成 30 年 9 月 1 日 (土)9:30～12:30	1	36
専門・特定・認定看護師会公開講座「重症患者の離床～安全に離床を進めよう～」	平成 30 年 10 月 20 日 (土)9:00～12:30	1	33
専門・特定・認定看護師会公開講座「化学療法の基礎と明日からの実践に役立つセルフケア指導」	平成 30 年 10 月 27 日 (土)9:00～12:30	1	56

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

①医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況(看護部)

平成30年度 看護部年間教育実施一覧

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
新人	基礎研修1 IT研修	4月7日(土) 9:00~17:15 医療管理学情報室 第4講義室	58	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	講義・演習	【講義】 ①THINK操作に関わる基本事項 ②個人情報保護とセキュリティ ③電子カルテ時代の診療記録 ④医療安全と質評価 講師:医療システム情報学 准教授 【演習】THINK操作について 講師:医療情報部看護師 インストラクター:キャリア開発室
	基礎研修2 標準予防策・廃棄物処理 <安全の知識> 転倒・転落予防 内服・点滴管理	4月10日(火) 8:30~14:00 総合臨床研修センターセミナー室、演習室3・4 保健学科4階実習室	58		講義・演習	【講義】「内服管理・点滴管理」「転倒・転落の危険判断」 講師:医療安全管理部GRM 【演習】危険予知トレーニングDVD視聴 担当:キャリア開発室 車椅子移乗のKYT演習 担当:キャリア開発室 ゴミの分別 講師:感染管理認定看護師 手洗い 講師:感染管理認定看護師
	基礎研修3 パートナーシップ・マインド	4月13日(金) 9:00~12:00 総合臨床研修センターセミナー室	58		講義・演習	【講義・演習】パートナーシップ・マインドについて 講師:キャリア開発室
	基礎研修4 輸液ポンプ・シリンジポンプ	4月24日(火) 1G:8:30~12:15 2G:13:30~17:15 総合臨床研修センターセミナー室、演習室3・4	58		講義・演習	【講義】輸液ポンプ・シリンジポンプについて 講師:臨床工学技士 【演習】輸液ポンプ・シリンジポンプ インストラクター:臨床工学技士・キャリア開発室
	基礎研修5 糖尿病看護・血糖測定	5月11日(金) 1G:10:00~12:30 2G:14:00~16:30 総合臨床研修センターセミナー室	58		講義・演習	【講義】糖尿病患者の看護 講師:糖尿病看護認定看護師 【演習】血糖測定 担当:キャリア開発室 インストラクター:部署看護師・キャリア開発室
	基礎研修6①② 体位変換・褥瘡予防	①5月16日(水) ②5月24日(木) 1G:8:30~12:15 2G:13:30~17:15 総合臨床研修センターセミナー室、演習室3・4	65		講義・演習	【講義】褥瘡予防技術 講師:皮膚排泄ケア認定看護師 【演習】褥瘡予防と車椅子移乗 インストラクター:部署看護師・キャリア開発室
	基礎研修7 口腔ケア 食事介助・経管栄養	5月29日(火) 1G:8:30~12:25 2G:13:20~17:15 保健学科実習室(基礎)	58		講義・演習	【講義・演習】口腔ケア・食事介助・経管栄養について 講師:摂食・嚥下障害看護認定看護師 インストラクター:部署看護師・キャリア開発室
	基礎研修8 循環の基礎 輸血・薬剤 感染対策	6月8日(金) 12:30~17:15 第4講義室	58		講義	【講義】感染防護策 講師:感染管理認定看護師 【講義】薬剤の基礎:内服薬・注射薬の基礎 講師:薬剤部副部長 【講義】循環の基礎 講師:心臓血管内科 医師 【講義】輸血の基礎 講師:輸血・細胞治療部長
	基礎研修9 ストレス・マネジメント	6月21日(木) 12:30~16:45 共通教育棟401	58		講義・演習	【講義】ストレス・マネジメント 講師:鹿児島大学医学部保健学科 臨床看護学講座 精神看護学 教授 堤 由美子先生
	基礎研修10 PONRIによる看護記録/ 夜勤導入前研修	6月28日(木) 15:00~17:00 第4講義室	58		講義・演習	【講義】PONRIによる看護記録 講師:キャリア開発室 【講義】夜勤導入前研修(夜勤の心構え) 講師:キャリア開発室
	基礎研修11①② 静脈血採血 静脈留置針	①7月19日(木) ②7月20日(金) 8:30~16:15 ①総合臨床研修センターセミナー室、演習室1・3・4 ②保健学科基礎看護学実習室	58		講義・演習	【講義】静脈採血の実際と採血・輸血に関連したリスクマネジメント 講師:キャリア開発室 【演習】静脈採血 担当:キャリア開発室 インストラクター:部署教育ナース・キャリア開発室・部署看護師 【演習】意見交換・危険予知トレーニング他 担当:キャリア開発室

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
新人	基礎研修12 看護必要度研修	8月1日(水) 13:30~17:15 第4講義室	58		講義・演習	【講義】看護必要度 講師:副看護師長(教育委員) 【演習】看護必要度の実際(テスト・解説)
	基礎研修13①② BLS 急変時フィジカルアセスメント	①8月8日(水) 8:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室、園主室3・4 ②8月17日(金) 8:30~16:45 演習室1・3・4	58		講義・演習	【講義】急変時のフィジカルアセスメント 講師:救急看護認定看護師 【演習】BLS演習 講師:災害支援ナース インストラクター:災害支援ナース・教育委員・キャリア開発室
	基礎研修14①② 呼吸の基礎 聴診・吸引・酸素吸入	①8月27日(月) 13:00~15:30 第4講義室 ②8月31日(金) 1G:8:30~12:15 2G:13:30~17:15 総合臨床研修センター演習室1・4・7	58	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	講義・演習	【講義】呼吸の基礎 講師:呼吸器内科 医師 【講義】酸素ボンベの取り扱い 講師:特定行為研修修了者 【演習】 (1)聴診 講師:特定行為研修修了者 (2)吸引 インストラクター:部署教育ナース・キャリア開発室 (3)危険予知トレーニング 担当:教育委員(師長・副師長)
	基礎研修15①② 皮下注射・筋肉注射	①10月12日(金) ②10月19日(金) 8:45~16:00 総合臨床研修センターセミナー室、演習室①1・2 ②3・4	58		講義・演習	【講義】注射に関する解剖生理 講師:部署教育ナース・病棟看護師 【講義】注射に関する看護師のアセスメント、注射に関する取り決め事項 講師:①病棟看護師・キャリア開発室 【演習】皮下注・筋注 担当:教育委員 インストラクター:部署教育ナース・病棟看護師・キャリア開発室 KYT・意見交換会 講師:キャリア開発室
	看護を語る	11月16日(金) 1G:12:30~14:45 2G:15:00~17:15 共通教育棟501講義室	58	看護の楽しさ、やりがい、奥深さを実感し、専門職者としての自覚や責任ある行動がとれる	発表会	【講義】ポートフォリオについて 講師:キャリア開発室 【演習】グループでの語り 自分の看護を語る「心に残る患者(看護)」 担当者:教育委員(師長・副師長)・キャリア開発室・教育担当副部長
	看護実践プロセスI	12月7日(金) 1G:8:30~12:00 2G:13:15~16:45 共通教育棟501講義室	58	自己の看護実践の振り返りを行い、問題点を明確化し、看護師・助産師としての役割を考える	講義・演習	【講義】看護の視点と看護観 講師:キャリア開発室 【演習】事例を用いた看護実践プロセスの展開から、看護の視点や看護観を考える 【演習】自己の看護計画を振り返り、個性のある看護計画について考えることが出来る
	新人急変時フィジカルアセスメントフォローアップ	2月8日(金) 1G:8:30~12:00 2G:13:15~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	58	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	講義・演習	【講義】フィジカルアセスメントについて 講師:特定看護師 【演習】ISBARCでの報告
	多重課題シミュレーション	10月2日(火) 8:30~17:10 保健学科実習室 (各グループ45~50分)	56	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	演習	【演習】多重課題シミュレーション インストラクター:各部署教育委員(または教育担当副師長)・部署教育ナース・キャリア開発室

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
卒業2年目	技術研修Ⅰ①② 挿管介助 閉鎖式吸引	①5月9日(水) ②5月22日(火) 12:10~16:45 総合臨床研修センター ①セミナー室、ラウンジ ②セミナー室、演習室3・4	56		講義・演習	【演習】挿管介助・吸引 インストラクター:教育委員(副部長)・キャリア開発室
	技術研修Ⅱ①② 人工呼吸器管理	①6月5日(火) ②6月28日(火) 12:10~16:45 総合臨床研修センターセミナー室、演習室3・4	56	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	講義・演習	【講義】人工呼吸器装着中の患者の看護 講師:教育委員(看護師長) 【講義】人工呼吸器の基礎知識 講師:臨床工学技士 【講義】人工呼吸器関連のインシデント・カニューレに関するインシデントについて 講師:キャリア開発室 【演習】人工呼吸器操 インストラクター:臨床工学技士
	既卒者対象 人工呼吸器管理	7月5日(木) 17:00~18:30 総合臨床研修センター	10		講義・演習	【講義・演習】人工呼吸器の基礎知識 講師:インストラクター:臨床工学士
	看護倫理Ⅰ	7月26日(木) 13:00~16:45 共通教育棟401講義室	56	看護者が守るべき倫理について理解し、倫理的問題解決に向けた取り組みが実践できる	講義・演習	【講義】看護倫理 【演習】事例検討 講師:緩和ケア認定看護師
	技術研修Ⅲ①② 聴診・12誘導心電図 (評価のみ)	①8月6日(月)9:00~17:00 総合臨床研修センター演習室2・7 ②8月9日(木)8:45~17:15 看護実践支援室 旧緩和ケアセンター	56	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	演習	【技術評価】呼吸音聴診・12誘導心電図装着 評価者:キャリア開発室
	技術研修Ⅳ①② エンゼルケア	①9月7日(金) ②9月12日(水) 1G:10:00~12:30 2G:14:00~16:45 保健学科基礎看護学実習室	56		講義・演習	【講義】エンゼルケア概論 講師:教育委員(副部長) 【演習】インストラクター:教育委員(副部長)・キャリア開発室
	GO!!プロジェクト活動	新聞作成提出 12月17日(月)締切	56	1.2年目看護師が主体的に企画を立て活動し、達成感・自信に繋げる 2.2年目看護師の柔軟な発想を現場の改善に活かし、個性豊かな看護活動を実践できる職場風土を育成する 3.企画から実践、発表までの過程を通じて、チームメンバーとしての自覚や役割について学ぶ	実践後報告	【実践後報告】 テーマ:「接遇」「日常生活支援」に関する事
地域施設見学事前学習研修	2月15日(金) 8:30~16:00 総合臨床研修センターセミナー室	56	1.地域連携や地域医療の現状と課題の理解を深めることが出来る 2.地域・在宅で生活する患者・家族の看護や介護状況の理解が出来る 3.地域における患者や介護サービス利用者を取り巻く地域ケア体制や他職種協働を理解できる	講義・演習	【講義】鹿児島医療人育成プランについて~本研修の進め方、地域施設見学の進め方について 講師:教育担当副看護部長 【講義】当院の退院支援の実際 講師:地域医療連携センター副部長 【演習】 鹿児島県の保健医療圏の医療資源について 架空事例の退院支援について各医療圏の医療資源を用いて事例検討	

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
卒後3年目	地域施設見学研修	4月より開始	50	1.地域連携や地域医療の現状と課題の理解を深めることが出来る 2.地域・在宅で生活する患者・家族の看護や介護状況の理解が出来る 3.地域における患者や介護サービス利用者を取り巻く地域ケア体制や他職種協働を理解できる	実践	【実習】地域訪問による実地研修 支援者:各部署看護師長および教育担当副看護師長
	医療器材管理	【講義】 9月25日(火)15:40~16:45 共通教育棟401講義室 【実地研修】 10~11月 1時間ずつ(15:00~16:00)	50	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	講義・演習	【講義】洗浄・消毒・滅菌について 講師:医療器材管理部 看護師長 【演習】医療器材管理部における実地研修
	地域施設見学発表会	1月31日(木)・2月1日(金)・4日(月)・5日(火)・6日(水) 17:00~18:30 場所:第4講義室 (2月5日のみ第5講義室)	50	1.地域連携や地域医療の現状と課題の理解を深めることが出来る 2.地域・在宅で生活する患者・家族の看護や介護状況の理解が出来る 3.地域における患者や介護サービス利用者を取り巻く地域ケア体制や他職種協働を理解できる	発表会	【発表】地域施設見学について

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
人材育成	プリセプター(実地指導者)フォローアップⅠ・Ⅱ	I:6月11日(月) II:12月5日(水) 13:15~18:45 I:共通教育棟401 II:第4講義室	65	1.新人看護職員の適応状況を把握し、新人看護職員へ基本的な看護技術の指導及び精神的支援が出来る 2.新人看護職員研修計画に沿って、教育担当者、看護師長とともに、部署における新人看護職員の個別プログラム立案、実施、評価が行える	講義・演習	I: 【講義】7~9月の新人指導について 講師:キャリア開発室 【講義】根拠を持って教えるということ 講師:キャリア開発室 【演習】フィッシュタイム、グループワーク「演習計画を立案」 II: 【講義】9~11月の新人教育について 講師:キャリア開発室 【演習】指導計画の立案・実施・評価の進捗状況について リフレクション:新人指導をするうえでのエピソード
	プリセプター研修・基礎	3月13日(水) 1G:9:00~12:15 2G:9:00~12:10、13:30~15:05 総合臨床研修センターセミナー室	60	1.新人看護職員の適応状況を把握し、新人看護職員へ基本的な看護技術の指導及び精神的支援が出来る 2.新人看護職員研修計画に沿って、教育担当者、看護師長とともに、部署における新人看護職員の個別プログラム立案、実施、評価が行える	講義・演習	【講義】人を教えるという事、育てるという事 講師:鹿児島大学学術研究院総合科学域総合教育学系 講師 石走 知子先生 【講義・演習】 プリセプターとは 講師:教育委員(副師長) プリセプターの役割 講師:キャリア開発室
	臨床指導者研修	8月22日(金) 13:00~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	40	臨床指導者としての役割を理解し、学生指導が実践できる	講義・演習	【講義】臨床実習の目的や意義、臨床指導者に期待される役割 講師:鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻総合基礎看護学講座 講師 中俣 直美 先生 【演習】グループワーク「臨床指導を行おう!!!」
	部署教育ナースフォローアップ	10月24日(水) 13:00~18:45 総合臨床研修センターセミナー室	30		講義・演習	【講義・演習】評価をするという事 講師:キャリア開発室 【演習】リフレクション
	部署教育ナース育成研修Ⅰ	2月27日(水) 8:30~16:00 総合臨床研修センターセミナー室	30	部署における部署教育ナースとしての役割を果たすことが出来る	講義・演習	I: 【講義】 当院看護部の教育体制と教育プログラム 講師:キャリア開発室 新人看護師について、部署教育ナースの役割~部署OJTについて~ 講師:キャリア開発室 【講義・演習】 企画書作成について 講師:キャリア開発室 シミュレーターの取り扱い 講師:キャリア開発室
	部署教育ナース育成研修Ⅱ	3月15日(金) 10:00~17:15 総合臨床研修センターセミナー室	30		講義・演習	講師:鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系 教授 有倉 巳幸先生 鹿児島大学学術研究院総合科学域総合教育学系 講師 石走 知子先生
フィジカルアセスメント・アドバンスコース *別冊	I:6月14日(木) II:7月12日(木) III:8月23日(木) IV:9月13日(木) V:10月5日(金) I-Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ:8:30~16:45 III:13:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室・演習室	25	フィジカルアセスメントの実践活用により、呼吸・循環を整えるケア実践につなげることが出来る	講義・演習	I: 【講義】フィジカルアセスメント・アドバンスコースについて 講師:キャリア開発室 【講義・演習】循環のフィジカルアセスメントについて 講師:慢性心不全看護認定看護師・集中ケア認定看護師 II: 【講義・演習】 呼吸のフィジカルアセスメントについて 講師:救急看護認定看護師 頭部のフィジカルアセスメントについて 講師:集中ケア認定看護師 III: 【講義・演習】 糖尿病のフィジカルアセスメントについて 講師:糖尿病看護認定看護師 IV: 【講義・演習】 代謝と輸液管理 講師:救急救命センター特任講師 V: 【講義】人工呼吸器を安心して使う 講師:特定看護師 【演習】シミュレーターを使用したフィジカルアセスメント演習 インストラクター:救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師 特定看護師	

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
人材育成	地域看護コース I・II・III・IV *別冊	I:5月18日(金) II:6月25日(月) III:9月22日(土) IV:11月20日(火) 13:00~16:45 I:第4講義室 II:1階カンファレンス室 III:鶴岡会館 IV:総合臨床研修センター セミナー室	30	患者の視点に立ち、シームレスケアを理解し、退院支援を実践できる	講義・演習	I: 【講義】地域看護コースについて 講師:教育担当副看護部長 【講義】地域連携センターの概要と活動 講師:地域医療連携センター副センター長 【講義】社会資源を活かした退院支援について 講師:地域医療連携センター PSW 【講義】退院支援に関する当院の取り組みについて 講師:地域医療連携センター 看護師長 【講義】退院支援看護師の活動の実際 講師:地域医療連携センター 副師長 II: 【事例報告】平成29年度地域看護コース受講者 地域医療連携センター退院支援専従看護師 【演習】グループワーク 効果的な退院支援のためにどのような情報をどのように収集するか? ~退院支援を推進するための課題と対策 ファシリテーター:教育委員・キャリア開発室 III:島嶼・地域ナース育成センター看護部共催シンポジウム “地域での暮らしを最期まで支える”意志決定支援を再考しよう!-Final Message- 【報告】急性期病院から“地域へ繋ぐ”取り組み、離島における小児の在宅看護 報告者:鹿児島大学病院看護部 2名 【講演】 地域づくりから見てきた多職種連携と意思決定支援の在り方 講師:鹿屋市地域包括支援センターセンター長 徳留浩二氏 意思決定支援の根底にあるもの 講師:鹿児島大学医学部保健学科 看護学専攻地域包括看護学講座 教授 堤由美子先生 IV: 【講義】鹿児島県の地域医療計画について 講師:キャリア開発室 【演習】事例検討グループワーク ファシリテーター:教育委員・キャリア開発室
	特定分野ジェネラリスト (1年目) *別冊	I:7月13日(金)9:00~16:00 II:8月20日(月)9:00~16:00 III:10月4日(木)9:00~16:00 IV:11月9日(金)9:00~16:00 V:12月11日(火)13:00~16:00 キャリアアップ研修室 *IIIの午後 総合臨床研修センター セミナー室、演習室1 VI:2月12日(火)15:25~18:00 総合臨床研修センター セミナー室	15	1. 特定分野のスペシャリストとなり、安心・安全な医療を提供することができる	講義・演習	I: 【講義】教育原理 教育の基本 講師:総合基礎看護学講座 教授 松成 裕子先生 【講義】自分自身の振り返り/優れた看護実践について 講師:臨床看護学講座精神看護学 教授 堤由美子先生 II: 【講義】講師:キャリア開発室 対象の全体像の描き方の特徴(対象理解) 自分の指導過程の特徴を知る 対象の持てる力を引き出す指導過程とは III: 【講義】看護のリーダーシップ 講師:母性・小児看護学講座 教授 吉留 厚子先生 【講義】看護過程と看護記録 講師:臨床看護学講座 准教授 清水 佐智子先生 IV: 【講義】チーム力に活かすファシリテーション/多職種カンファレンスの実際 講師:教育担当副看護部長 【講義】看護師の持つ倫理的課題/倫理カンファレンスの実際 講師:総合基礎看護学講座 教授 八代 利香先生 V:【講義・演習】企画書の作成について 講師:キャリア開発室 VI:実践活動企画書発表 <28・29年度受講生> 実践活動報告(2月12日)

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
看護実践	勤務帯リーダー研修①②	①7月3日(火) ②1月18日(金) 13:20~16:30 総合臨床研修センターセミナー室	50	勤務帯リーダーとしてのマネジメントを理解し、実践できる	講義・演習	【講義】リーダー概論 講師:教育委員(師長) 【講義】勤務帯リーダーの実際 講師:教育委員(副師長) 【演習】リーダーに求められる判断力
	倫理研修 急性期病院における抑制しない看護へのチャレンジ	7月10日(火) 17:30~19:00 鶴陵会館大ホール	228	倫理的視点を持って抑制しない看護の基本的な考え方について学ぶ	講義	急性期病院における抑制しない看護へのチャレンジ 講師:小藤幹恵(金沢大学病院 元看護部長)
	看護倫理Ⅱ	11月27日(火) 13:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	50	看護師が抱える倫理的ジレンマについて理解し、自身の事例について解決方法を考える事ができる	講義・演習	【講義】看護実践における倫理的課題と対応 講師:緩和ケア認定看護師 【演習】Jonsenらの4分割法を用いた事例検討
	看護実践プロセスⅡ	6月29日(金) 8:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	50	看護過程の展開を理解し、個別性・継続性に配慮した看護を実践できる	講義・演習	【講義】看護過程概論 講師:保健学科基幹看護学講座 助教 山口 さおり 【講義・演習】直腸がん患者の看護 講師:緩和ケア認定看護師
	看護実践プロセスⅢ	12月21日(金) 13:00~16:45 共通教育棟503講義室	50	PONRIに基づいた看護記録を実践し、部署看護師を対象に看護記録の質向上に向けた指導ができる	講義・演習	【講義】看護実践からみえる看護記録 看護記録の意義と専門職が書く記録 講師:キャリア開発室 看護過程に沿った看護記録の指導 講師:教育委員(副師長) 看護記録監査の現状と課題 講師:看護記録検討・監査委員(副師長) 【演習】事例を用いた監査・評価・指導の実際 ファシリテーター:教育委員(副師長)・キャリア開発室
	BLSフォローアップ①②③	①7月11日(水) ②9月18日(火) ③11月21日(水) 17:00~18:30 総合臨床研修センター演習室	15	医療人として必要な基礎的知識・技術を身に付け、看護実践力の向上を図る	講義・演習	【演習①】BLS演習 講師:災害支援ナース インストラクター:災害支援ナース・救急看護認定看護師・キャリア開発室 【演習②】BLS演習 講師:集中ケア認定看護師・災害支援ナース インストラクター:災害支援ナース・教育委員(副師長) 【演習③】BLS演習 講師:救急看護認定看護師 インストラクター:災害支援ナース・教育委員・キャリア開発室
	専門分野シリーズ 認知症看護(全5回)	I:6月6日(水) II:7月18日(水) III:8月7日(火) IV:9月5日(水) V:10月1日(月) 17:30~18:30 総合臨床研修センターセミナー室	30	1. 認知症のメカニズムの基礎知識を学ぶ 2. 認知症患者の看護の基本が理解できる	講義	I:【講義】認知症の動向とその理解 講師:精神科認定看護師 II:【講義】認知症患者の症状の理解、ケアについて 講師:認知症看護認定看護師 III:認知症の人とのコミュニケーションと環境調整 講師:認知症看護認定看護師 IV:【講義】一般病棟における身体拘束、身体拘束の予防(最小化)に向けて 講師:精神科認定看護師 V:【演習】看護に生かす認知症ケア(事例展開)
	専門分野 救急看護(初級編)	7月2日(月) 13:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	30	1.救急看護に必要な基礎知識・技術について理解する	講義・演習	救急看護認定看護師
	専門分野 救急看護(中級編)	7月23日(月) 13:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	30	1.救急看護に必要な基礎知識・技術について理解する	講義・演習	救急看護認定看護師
	専門分野 糖尿病看護(初級編)	10月18日(木) 13:30~16:45 共通教育棟402講義室	30	1.糖尿病患者に対する効果的な教育方法を理解できる 2.インスリン療法の支援に関する基礎知識を理解できる 3.フットケアの基本が理解できる	講義・演習	【講義】糖尿病の病態・治療 講師:糖尿病・内分泌内科 医師 【講義・演習】糖尿病患者への療養支援 講師:日本糖尿病療養指導士
専門分野 糖尿病看護(中級編)	10月25日(木) 13:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	30	1.糖尿病患者に対する効果的な教育方法を実践できる 2.インスリン療法の効果的支援を実践できる 3.適切なフットケアを実践できる	講義・演習	【講義・演習】 講師:糖尿病看護認定看護師 糖尿病の合併症 合併症をもつ患者の看護 合併症をもつ患者の事例検討	

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
看護実践	専門分野基礎 皮膚・排泄ケア (初級編)	12月18日(火) 13:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	30	1.皮膚の構造とメカニズムを理解できる 2.予防的・治療的スキンケアの基本を理解できる 3.脆弱な皮膚に対するスキンケアを実施できる	講義・演習	【講義・演習・事例検討】 講師:皮膚・排泄ケア認定看護師 皮膚の解剖生理と看護におけるスキンケアの意義と目的 脆弱な皮膚のアセスメント 予防的・治療的スキンケアの実際 事例検討
	専門分野基礎 皮膚・排泄ケア (中級編)	1月16日(水) 13:30~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	30	1.皮膚障害に応じたスキンケアの必要性について理解できる 2.皮膚障害時のスキンケアの方法を理解できる 3.皮膚障害時のスキンケアを実践できる	講義・演習	【講義・演習・事例検討】 講師:皮膚・排泄ケア認定看護師 皮膚の解剖生理と看護におけるスキンケアの意義と目的 脆弱な皮膚のアセスメント 予防的スキンケアの実際 事例検討
	(公開講座) がん看護	9月1日(土) 9:30~12:30 総合臨床研修センターセミナー室	36	1.がん看護の基礎知識を学び、アセスメント能力を高めることができる 2.がん患者の持つ苦痛を全人的視点からアセスメントし、看護計画を立案することができる	講義・演習	「高齢がん患者の意思決定支援」 【講義・演習・事例検討】 講師:がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師・ がん性疼痛看護認定看護師
	(公開講座) 集中ケア	10月20日(土) 9:00~12:30 総合臨床研修センターセミナー室	33	1.集中ケアに必要な基礎知識を学び、実践できる 2.重症患者の離床の必要性、進め方・評価について理解できる	講義・演習	「重症患者の離床～安全に早期離床を進めよう」 【講義】 重症患者の離床の必要性を学ぼう 講師:集中ケア認定看護師 重症患者の栄養・代謝 講師:集中ケア認定看護師 【演習】重症患者の離床の進め方・評価を学ぼう 講師:理学療法士
	(公開講座) がん化学療法	10月27日(土) 9:00~12:30 鶴岡会館中・小ホール	56	1.がん化学療法・抗がん剤に関する正しい知識を習得できる 2.がん化学療法を受ける患者に適切な看護ケアを提供するための知識を習得できる	講義・演習	【講義】 がん化学療法の基礎 講師:鹿児島大学病院血液膠原病内科教授 石塚賢治先生 分子標的薬剤による皮膚障害について 講師:がん化学療法看護認定看護師
	急変時シミュレーション	5月より随時	-	1.患者急変時における看護師の役割と動きについて実践を通して学ぶ 2.患者の観察要点、救急措置について実践を通して学ぶ 3.チーム医療における報告体制や看護師の果たす役割について学ぶ	演習	部署教育担当副看護師長 特定・集中ケア・救急・小児救急看護認定看護師

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
管理者育成	経営Ⅰ	6月18日(月) 17:00～18:00 第4講義室	100	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	講義	【講義】講師:医療情報部担当看護師 経営 ・当院の経営方針について ・DPCとは ・DPC選択(コーディング)の手順 ・DPCにおける診療報酬請求額のイメージ 【講義】講師:地域医療連携センター 看護師長 経営改善への取り組み～地域医療連携センターの活動より～ ・地域包括ケアシステム ・退院支援の流れ ・退院支援に関する当院の取り組みの現状
	経営Ⅱ	11月12日(月) 17:30～18:30 第5講義室	100	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解し、実践できる	講義	【講義】当院の経営戦略と看護師の役割 講師:副院長 医療情報部長 宇都由美子先生 看護部業務担当副看護部長
	リーダーシップ	10月31日(水) 13:30～16:45 総合臨床研修センターセミナー室	30	日常の看護活動の中で、医療チームの一員としての適切なリーダーシップについて考えることができる	講義・演習	【講義】リーダーシップとは 講師:鹿児島大学教職大学院 教育学研究科学校教育実践高度化専攻長 教授 有倉 巳幸先生 【演習】自己の役割遂行のための効果的なリーダーシップを考える
	看護管理者研修 副看護師長 中堅スタッフ	<副師長> 8月3日(金) 9:00～16:00 病院第一会議室 <中堅スタッフ> ①9月20日(木) ②9月21日(金) 8:30～17:00 総合臨床研修センターセミナー室	70 35	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる	講義・演習	<副師長> 【講義・演習】師長・副師長のためのリーダーシップ研修 <中堅スタッフ> 【講義・演習】概念化スキルパワーアップトレーニング・アドバンス①② 講師:河野 秀一(株式会社 サフィール)
	看護管理者基礎	I:10月15日(月) II:11月13日(火) III:12月10日(月) 16:30～17:15 総合臨床研修センターセミナー室	70	看護管理の基礎を理解し、管理者を支援できる	講義・演習	【講義・演習】管理的問題の事例検討 ファシリテーター:教育委員(師長)・キャリア開発室
	看護研究	6月20日(水) 17:30～19:00 第4講義室	120	看護研究の基本的知識を得て、看護研究に取り組むことができる	講義	【講義】質の高い看護研究をめざして—研究計画と概念枠組み— 講師:保健学科 看護学専攻地域包括看護学講座講師 児玉慎平先生
	看護管理者研修 急性期病院における抑制しない看護への看護管理者としての取り組み	7月11日(水) 8:30～12:00 鶴陵会館中・小ホール	96	抑制しない看護の実践に向けて看護管理者として組織づくりについて学ぶ	講義 グループワーク	【講義】急性期病院における抑制しない看護への看護管理者としての取り組み 講師:小藤幹恵(金沢大学病院 元看護部長) グループワーク ・部署における身体抑制の現状 ・抑制しない看護を実践するための管理者としての課題 ・抑制しない看護に向けた今後の取り組み
	看護管理者研修 看護管理に活かす コンピテンシー	2月22日(金) 11:00～17:00 総合臨床研修センター演習室1・2	35	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる	講義 グループワーク	【講義】看護管理に活かすコンピテンシー 講師:東京大学大学院医学系研究科 准教授 武村 晋絵 先生 【グループワーク】 領域「個人の特性」「信念の維持」のグループリフレクション

区分	研修名	研修日時・場所	参加人数	一般目標	方法	内容
全体	院内看護研究発表会	11月10日(土) 8:30~12:10 鶴陵会館 11月17日(土) 8:30~11:50 鶴陵会館		看護研究を通して看護の探究心を養い、看護活動に役立てることが出来る	発表	【発表部署】 B7・C2・C4・C5・C6・C7・NICU・ICU・手術部・回復期リハ 【発表部署】 B2・B3・B4・B5・B6・B8・C3・救急病棟・医科外来・歯科外来
看護助手	看護助手研修 I II III IV *別冊	I:5月30日(水) ①9:30~11:30 ②13:00~15:00 総合臨床研修センター セミナー室 II:①7月25日、②7月31日 ①9:30~11:30 ②13:00~15:00 総合臨床研修センター セミナー室・演習室3・4 III: ①10月16日(火) ②10月23日(火) ①:45~12:00 ②13:15~15:30 保健学科基礎看護学実習室 IV:11月29日 ①9:30~11:30 ②13:00~15:00 総合臨床研修センター セミナー室	100	看護ケアチームの一員として安全にケアが提供できるための、基礎的知識・技術を習得できる	講義・演習	I: 【講義・演習】 感染対策とSSについて/手指衛生と個人防護具の着脱(演習) 講師:感染管理認定看護師 【講義】医療器材管理の基本について 講師:医療器材管理部 看護師長 II: 【講義】体位変換・体位保持 講師:キャリア開発室 【演習】体位変換・ポジショニング インストラクター:部署看護師・キャリア開発室 III: 【講義・演習】食事介助・口腔ケア・義歯の取り扱い 講師:キャリア開発室 インストラクター:部署看護師・教育委員・キャリア開発室 IV: 【講義】 医療チームの一員としての患者への対応、個人情報保護と守秘義務、接遇、倫理について/感染対策:マットレス清掃について 講師:質・安全担当副看護部長 【講義】 医療制度の概要及び病院の機能と組織について/医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務について 講師:業務担当副看護部長

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 夏越 祥次
管理担当者氏名	各診療センター部門科長 医療情報部長(宇都由美子) 薬剤部長(武田泰生) 看護部長(市村カツ子) 臨床技術部長(弓場裕之) 総務課長(中村智子) 医務課長(宮野英彦)

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療センター 部門科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報部/診療記録管理室
		看護記録	医療情報部/診療記録管理室
		検査所見記録	医療情報部/診療記録管理室
		エックス線写真 紹介状	医療情報部/放射線部 医療情報部/診療記録管理室
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部/診療記録管理室
			(1) 診療記録に関する諸記録は、2007年以降の外來及び入院分から電子カルテにて電子媒体保存している。 (2) 一部の診療に関する諸記録(紹介状、同意書等)については、1患者1ID番号により、外來・入院文書ホルダーで、本学で定められた保存期間に基づき、一括管理している。 (3) 保存期間を超過した紙媒体の診療記録、諸記録は、廃棄ルールに基づき、原則廃棄している。 (4) エックス線フィルムは、2013年度からデジタル化し、フィルムレスで管理している。CT、MRI、RI、一般撮影、透視、血管造影、乳房撮影等は、デジタル画像として院内サーバーにて保存している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績 閲覧実績	総務課 総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外來患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医務課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医務課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医務課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床技術部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床技術部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医務課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	総務課 医務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医務課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。



(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 夏越 祥次	
閲覧担当者氏名	総務課長 中村 智子	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
閲覧場所を設置しており、要求があった場合には対応できる状況である。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。



規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> I 趣旨 II 安全管理に関する基本的考え方 III 組織に関する基本的事項 IV 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 V 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 VI 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 VII 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 VIII 患者等からの相談への対応に関する基本方針 IX その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
<ul style="list-style-type: none"> ② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無 (①・無) ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療の安全管理体制の確保に関する事 (2) 医療に関する安全管理指針に関する事 (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関する事 (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関する事 (5) その他医療の安全管理等に関する事 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： <ul style="list-style-type: none"> (1) 「医療を支える2つの「つながり」」 (2) 「医療の質を高めるインフォームド・コンセント」 (3) 「除細動器・人工呼吸器－安全に使えるためのコツ－」 (4) 「患者家族の安心感を高めるマナー&コミュニケーション」 (5) 「医療安全と感染対策に向けた英知の結集 2018」 (6) 「麻薬の取扱い・管理について」 (7) 「入院患者の自殺予防」 (8) 「褥瘡の評価と治療」 (9) 「人工呼吸器と除細動器 (AED) の安全な使い方のコツ」 (10) 「RRSシンポジウム－安心は次のステージへ－」 (11) 「高めよう！医療安全カーチェックシートで自己評価－」 	
<ul style="list-style-type: none"> ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況 ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療環境の変化に対応するため、医療安全管理マニュアルを随時改訂した。 (2) 医療安全活動強化月間 (6月・11月) を設定した。 (3) 医療安全強化月間およびリスクマネージャー連絡会議等でのインシデント (I) レベル0, 1報告の推奨を行った。また、インシデント報告システム内の項目を見直し、必要最小限の入力項目とした。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> I 趣旨 II 院内感染対策の基本指針 III 組織体制 IV 職員の教育及び研修 V 報告に関する基本方針 VI 対応に関する基本方針 VII その他 VIII 閲覧 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 17 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>本院における院内感染対策に関する発生状況や抗菌薬使用量を含む実施状況の情報共有、および問題の原因分析、改善策を審議し、諸施策等の策定等を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 13 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 1 回 「標準予防策とマニュアルの展開、情報の見方」 第 2 回 「B 型・C 型肝炎：感染対策と肝炎対策」 第 3 回 「手指衛生の重要性・必要性を考える」 第 4 回 「医療安全と感染対策に向けた英知の結集 2018」 第 5 回 「結核」 第 6 回 「多剤耐性アシネトバクター検出例に係る全体集会」 第 7 回 「抗菌薬の適正使用」 第 8 回 「感染経路別予防策」 第 9 回 「重症感染症について」 第 10 回 「インフルエンザ」 第 11 回 「感染性胃腸炎」 第 12 回 「救急病棟における薬剤耐性緑膿菌の複数検出例について」 第 13 回 「救急病棟における薬剤耐性緑膿菌の複数検出例について」 - 2 回目 - <p>※研修会当日に参加できなかった職員のために、録画放映による研修会を別途実施している。その他に新規採用者・中途採用者・清掃業者・調理従事者向けの研修会を実施した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 伝播リスクの高い感染症発生時や耐性菌保有リスクの高い海外医療機関歴のある患者や過去の耐性菌検出者の入院時に部署から感染制御部に報告 (2) 注意すべき病原体の検出時に検査部から ICT に報告 (3) 週 1 回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートを ICT に提出 (4) 重大な感染事例の発生時は感染制御部から病院長に報告 (5) ICT スタッフ会議、感染症対策委員会において報告 (6) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 11 回
<p>研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018/4/3 新規採用者ガイダンス 36人 2018/4/4 新規採用者ガイダンス(歯科) 25人 2018/4/6 研修医ガイダンス 34人 2018/6/8 看護部新規採用者研修会 56人 2018/6/29 腹水の治療薬について C7病棟看護師 12人 2018/6/25 医療安全研修会(「麻薬の取扱い・管理について」) 155名 2018/8/1 スチパーガについて B2病棟看護師 5人 2018/8/27 シタラピン投与時のフルメトロン点眼、クライオセラピーについて B8病棟看護師 10人 2018/9/6 プロポフォールについて B3病棟看護師 15人 2018/9/28 医療安全研修会(「麻薬の取扱い・管理について」)(DVD研修) 55名 2018/11/28 ステロイド外用剤について IBDチーム、B7病棟看護師 9人 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>手順書の作成 (有)・無)</p> <p>手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品の採用について 2 医薬品の購入について 3 調剤室における医薬品の管理について 4 病棟・各部門への医薬品の供給について 5 外来患者への医薬品使用について 6 在宅患者への医薬品使用について 7 病棟における医薬品の管理について 8 入院患者への医薬品使用について 9 医薬品情報の収集・管理・提供について 10 手術・麻酔部門について 11 救急部門・集中治療室について 12 輸血・細胞治療部門について 13 生命維持管理装置領域について 14 臨床検査部門、画像診断部門について 15 歯科領域について 16 他施設との連携について 17 事故発生時の対応について 18 教育・研修について 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)：</p> <ul style="list-style-type: none"> 適応外使用：ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブの投与 適応外使用：前立腺小細胞癌に対するシスプラチン・エトポシド併用療法 適応外使用：小児の再発のCD22陽性の急性リンパ性白血病に対するベスポンサの投与 適応外使用：妊娠・分娩に関連した大量出血例、あるいは外傷患者や外科手術で術中出血の増加(>4000ml)及び急激な出血がおり止血困難な場合に凝固検査を行い、低フィブリノーゲン血症(<150mg/dl)を認めた症例、あるいは検査結果が得られないのに時間がかかる場合は低フィブリノーゲン血症が疑われる症例に対するフィブリノーゲンHIT大量療法 適応外使用：HLA半合致同種造血幹細胞移植後大量シクロフォスファミド療法 適応外使用：前立腺小細胞がんに対するカルボプラチン・イリノテカン療法 	

適応外使用：HIVの暴露事故（医療者における針刺し事故）時の抗HIV薬（アイセントレス400mg錠、デシコビヒ錠、エブジコム錠）の予防投与
適応外使用：小児のオブソクロヌス・ミオクロヌス症候群に対するリツキシマブ投与

その他の改善のための方策の主な内容：

医薬品情報の周知状況の確認を徹底するために、DIニュースについては、毎月の発行分を医療安全管理委員会に報告し、リスクマネージャ連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。
緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、院内通知文書や院内メール、院内イントラネット、病棟担当薬剤師による情報提供、当該医薬品を使用している患者カルテへの記載を行う等、様々な方法で情報提供を行い、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回収し、回収することとしている。

過去に適応外使用として医療倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。

一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上での警告表示ならびに疑義照会として実施し処方変更を依頼している。

現在、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	① 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
・ 研修の主な内容： 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（6月、12月） 人工呼吸器研修会（5月、11月） 血液浄化療法研修会（6月、11月） 除細動器研修会（5月、11月） 閉鎖式保育器研修会（5月、3月）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 （ ① 有・無 ） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置（年1回） 人工呼吸器（年1回） 血液浄化療法装置（年1回） 除細動器（年1回） 閉鎖式保育器（年1回）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ ① 有・無 ） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 全医療職員を対象とした講習会（2回/年） 除細動器、人工呼吸器-安全に使えるためのコツ- 人工呼吸器と除細動器（AED）の安全な使い方のコツ ・ 医療機器安全管理検討委員会での情報周知 誤接続防止コネクタの国内導入に関する案内	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 9 条の 20 の 2 第 1 項第 1 号から第 1 3 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療に関する安全管理のための指針を平成28年10月1日一部改訂し、医療安全管理責任者に病院長補佐 (安全管理担当：医科) を充て、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括させることとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (6名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室にて情報を収集・整理し、DI ニュースとして発行している (平成 30 年度の DI ニュース発行回数：75 回)。また、平成 28 年 10 月より、1 ヶ月の周知状況を医療安全管理委員会に報告し、リスクマネージャ連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。</p> <p>緊急安全性情報 (イエローレター) ならびに安全性速報 (ブルーレター) が発出された場合には、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収している。(ただし、平成 30 年度は緊急安全性情報ならびに安全性速報は発出されていない)</p> <p>医薬品・医療機器安全情報に掲載されている医薬品については、当該医薬品を投与している患者を抽出し、当該医薬品を投与している患者の主治医に対し、病棟担当薬剤師より、電子カルテにて情報提供を行い、該当患者一覧表を保存している。(平成 30 年度の医薬品・医療機器安全情報の該当医薬品の処方医への周知：10 回、107 薬剤 (成分)、該当患者 238 名)</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>過去に適応外使用として臨床倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。</p> <p>一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を見落として禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している (警告を見落として禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時</p>	

に疑義照会している)。

現在、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を見つけた際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。

・担当者の指名の有無 (有)・無)

・担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤部長) (所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長)

(所属：薬剤部 ， 職種 医薬品情報主任) (所属：薬剤部 ， 職種 病棟薬剤業務管理主任)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

(有)・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ((有)・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容
インフォームドコンセント委員会において、診療科より提出された説明書がインフォームドコンセントマニュアルの規程に沿ったものであるか確認、審査し、不足追加部分を指摘、訂正を促す。最終版を委員会で承認し、院内共通の文書として登録している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

(有)・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療記録の記載方法は、診療記録管理委員会で作成した「診療記録記入マニュアル」に提示している。診療記録の記載内容の確認は、診療記録記入マニュアルをもとに、同委員会で作成した「診療記録監査マニュアル」に従い、診療記録を医療情報管理部診療情報管理部門で監査している。ピアレビューは、診療記録監査ワーキングにおいて多職種で監査している。監査結果は、診療センター長等会議、病院運営会議、病棟医長師長等会議、診療記録管理委員会、各診療科へ通知している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療安全を確保するための改善方策に関すること。(2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。(3) インシデントの分析に関すること及びインシデント分析部会開催に関すること。(4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関すること。(5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関すること。(6) 医療安全管理委員会の運営に関すること。(7) 院内各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。(8) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱いその他の医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。(9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。(10) その他医療安全対策の推進に関すること。 <p>・医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例 月 2 回の医療安全ラウンドにおいて、各部署の従事者に対して、あらかじめ医療安全に関する質問事項を決定し、回答や掲示状況を確認し、モニタリングしている。モニタリング状況は、医療安全管理委員会で報告し、リスクマネージャー連絡会議において全部署のリスクマネージャーに周知している。</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（４件）、及び許可件数（４件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>高難度新規医療技術を用いた医療の適正な提供を図るために、新規医療技術の有効性並びに合併症の重篤性及び発生の可能性等の安全性、設備の整備及び麻酔科医師との連携体制の確保の状況、医師の医療の提供に関する経験、患者に対する説明及び同意の取得方法などから、提供の適否、実施を認める条件を決定している。さらに、適正な手続きに基づいて提供されたか遵守状況の確認を定期的に行い、病院長に報告している。</p>	

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (12 件)、及び許可件数 (8 件)
※4 例は申請取り消し
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)
- ・ 活動の主な内容：
 - 未承認新規医薬品等使用の可否の審査
 - 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用報告書の確認
 - 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用後の有害事象等の発生の有無の確認
 - 未申請で使用されてる未承認新規医薬品等の調査
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 220 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 113 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - A. 上記報告の状況の確認及び管理者への報告
 - B. 概要の確認、調査・分析、改善方法の立案・検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り ((病院名：秋田大学医学部附属病院) ・無)
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ ((病院名：山梨大学医学部附属病院) ・無)
- ・技術的助言の実施状況

医療安全管理体制、医薬品安全管理体制、高難度新規医療技術担当部門等に係る助言について、各部署において検討のうえ、適宜対応を行っている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者相談窓口を設置し、寄せられた相談内容を把握、規則によって定められた者による医療相談室会議を開催し、対応するとともに、関係部署、安全管理部門へも協力を要請している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

新規で採用された医師、歯科医師、医療職員及び事務職員を対象に、4月に初任者研修を実施し、受講させている。中途採用の職員に対しても、毎月DVDによる研修を実施し、受講させている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況

管理者

- ・日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (H31. 2. 6)

医療安全管理責任者

- ・日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (H31. 1. 23)
- ・第32回 国立大学附属病院医療安全協議会総会 (H30. 10)
- ・医療安全に関するワークショップ (H30. 11)

医薬品安全管理責任者

- ・日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会 (H31. 1. 12)

医療機器安全管理責任者

- ・日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (H30. 11. 23)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none">・ 基準の主な内容 附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。 (1) 医師免許を有している者 (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者 (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 公表の方法 鹿児島大学病院ホームページにおいて公表

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無			
<ul style="list-style-type: none">・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無)・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無)・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無)・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 経営効率向上のための基本戦略及び対外基本戦略に関する事項</p> <p>(2) 中期目標・中期計画・年度計画に関する事項</p> <p>(3) 予算配分案の策定</p> <p>(4) 診療等の評価、職員の評定</p> <p>(5) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 診療センター長等会議で各診療科に伝達している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・公表の方法 鹿児島大学ホームページにより公表している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 (有・(無))</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
夏越 祥次	○	医師	病院長
坂本 泰二		医師	副病院長 (医科)
山崎 要一		歯科医師	副病院長 (歯科)
高嶋 博		医師	副病院長 (特命)、人事戦略室長
井本 浩		医師	副病院長 (特命)
大石 充		医師	副病院長 (特命)、病院長補佐 (安全管理)
宇都 由美子		看護師	副病院長 (特命)、医療情報部長
又木 雄弘		医師	副病院長 (特命)
西村 正宏		歯科医師	副病院長 (特命)
佐藤 雅美		医師	病院長補佐 (教育・研修)
南 弘之		歯科医師	病院長補佐 (教育・研修)
杉浦 剛		歯科医師	病院長補佐 (安全管理)
井戸 章雄		医師	病院長補佐 (診療・研究)
野口 和行		歯科医師	病院長補佐 (診療・研究)
吉浦 敬		医師	放射線診療センター長
小林 裕明		医師	女性診療センター長
橋口 照人		医師	検査部長
家入 里志		医師	地域医療連携センター長
垣花 泰之		医師	救命救急センター長、集中治療部長

(様式第 6-3)

松永 明		医師	手術部長
武田 泰生		薬剤師	薬剤部長
市村 カツ子		看護師	副病院長 (特命)、看護部長
弓場 裕之		理学療法士	臨床技術部長
仲井 精一		事務職員	事務部長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)
公表の方法
鹿児島大学ホームページにより公表している。
- ・ 規程の主な内容
病院長は、病院の管理運営、経営等全ての事項について、意志決定の最終責任者として、業務を掌理する。
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割
副病院長
【役割】 医科全般担当、歯科全般担当
副病院長 (特命)
【役割】 人事労務担当、物品機器・手術担当、将来構想・年度計画担当、経営分析・広報担当
病院再開発担当、将来構想担当 (歯科)、医療の質・接遇担当
病院長補佐
【役割】 教育・研修 (医科) 担当、教育・研修 (歯科) 担当、安全管理 (医科) 担当、安全管理 (歯科) 担当、診療・研究 (医科) 担当、診療・研究 (歯科) 担当
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
平成31年2月9日 (土) 開催「第3回病院長塾」 (参加者: 夏越病院長・大石副病院長)

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	(有)・無				
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長等から報告を求め、又は必要に応じ自ら確認すること。</p> <p>(2) 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</p> <p>(3) 前各号の業務について、監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法： 鹿児島大学ホームページにより公表している。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
後 信	九州大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO 法人 がんサポートか ごしま		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

(1) 業務監査

① 労働基準法、労働安全衛生法等の遵守状況に関する監査 (実地監査)

勤務時間管理、休暇の取得、安全衛生管理等

・実施時期 2019年11月1日～2019年11月29日

② 個人情報保護法等の遵守状況に関する監査 (実地監査)

保有個人情報の保有制限、安全確保の措置等

・実施時期 2019年10月1日～2019年10月31日

③ 公文書等の管理に関する法律等の遵守状況に関する監査 (実地監査)

法人文書の適正な作成、保存、整理等

・実施時期 2019年10月1日～2019年10月31日

④ 情報セキュリティに関する監査 (実地監査)

i) 情報セキュリティに関する脆弱性診断

・実施時期 2019年4月1日～2020年2月28日

ii) 学内導入の事務システムの情報セキュリティポリシー等の遵守
状況に関する監査

・実施時期 2019年12月2日～2019年12月26日

(2) 会計監査

① 契約、現金・資金管理、収入・支出、旅費、報酬、資産管理、未収
債権及び公的研究費の会計処理状況等に関する監査

・実施時期 (書面監査) 2019年6月3日～2019年7月31日

(実地監査) 2019年9月2日～2019年9月30日

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

鹿児島大学ホームページにより公表している。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 鹿兒島大学経営協議会（学長、理事、病院長、事務局長、学外有識者が委員）において、病院の予算執行状況や管理運営に関する重要事項について、審議、報告を行っている。・ 会議体の実施状況（ 年6回 ）・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年2回 ）・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）・ 公表の方法 鹿兒島大学ホームページにより公表している。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 鹿兒島大学ホームページ及び鹿兒島大学病院ホームページにより周知している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 ・ 公益財団法人 日本医療機能評価機構 ・ 2019年8月21日 (水) ・ 22日 (木) ・ 23日 (金)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院概要及び病院ホームページにおいて、法令による医療機関の承認・公費負担医療等指定状況等について公表している。 また、鹿児島大学病院ホームページにおいて、各診療科の特色を発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 救急患者及び複数疾患等においては、診療科を越えて連携して治療にあたっている。	

